

平成 28 年度

むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書

－ 平成 27 年度の実績 －

平成 28 年度
むつ市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書
(平成 27 年度の実績)



平成 28 年度
むつ市教育委員会の事務の点検及び
評価に関する報告書
－ 平成 27 年度の実績 －

編 集 むつ市教育委員会総務課
発 行 むつ市教育委員会
発行年月 平成 28 年 8 月

むつ市教育委員会

まえがき

おつ市教育委員会は、地域の特色ある文化を大切にしながら次の世代に引き継ぎ、未来のおつ市を担っていくための「人づくり」と、地域の人々が取り組む様々な活動を支えていくことが重要であると考え、各種教育施策の充実に努めております。

こうした取組につきましては、これまでも様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきたところですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を高め、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育基本計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成28年8月

おつ市教育委員会

目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育基本計画	3
1 ア 教育環境の整備促進	
（重点項目）	
（1）学校規模の適正化	4
（2）安全・安心な教育環境の整備	5
（3）時代に対応した教育内容の充実	7
1 イ 活力ある学校教育の推進	
（重点項目）	
（1）教員の適正・適切な配置	8
（2）通学区域制度の適切な運用及び再編	9
（3）学校規模の適正化に係る研究・検討	9
（4）就学困難な児童生徒等に係る就学援助	9
（5）学校評議員制度の充実	11
（6）幼稚園への就園奨励	11
（7）奨学金制度の充実	12
（8）学校保健の充実	13
（9）学校給食の充実	15
2 生涯学習の推進 文化の充実	
（重点項目）	
（1）生涯学習の推進	17
（2）家庭・学校・地域の連携促進	20
（3）芸術・文化活動の奨励と振興	21
（4）郷土の文化遺産の保護・保存と活用	23
（5）社会教育施設の充実	26
3 「生きる力」を育む学校教育の推進	
（重点項目）	
（1）小中一貫教育の充実	29
（2）質の高い教育課程の創造	30
（3）学力向上対策の充実	31
（4）生徒指導の充実と関係機関との連携強化	32

(5) 特別支援教育体制の充実	3 3
(6) 教育相談活動の充実	3 5
(7) 国際化に対応する教育の推進	3 7
(8) 教育研修センター講座等の充実	3 8
(9) 弘前大学教育学部との連携強化	3 9
(10) 文化・交流事業の充実	4 0

4 公民館活動の推進

(重点項目)

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	4 2
(2) 公民館事業の推進	4 4
(3) 社会教育団体等の育成支援	4 9
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	5 2
(5) 視聴覚ライブラリーの充実	5 3

5 地域の教育・文化の向上発展

(重点項目)

(1) 図書館施設の適正管理	5 5
(2) 図書館サービス活動の充実	5 7
(3) 利用者ニーズに即した資料整備	6 2
(4) 子どもの読書活動の推進	6 3
◇点検・評価対象一覧	6 5

◇ 点検・評価に当たって

1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育基本計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

平成27年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために平成27年度に実施した具体的な取組（全109事業、65ページ以降に点検・評価対象一覧として掲載）を点検対象として、その点検結果を踏まえ、各重点項目（全41項目）ごとに自己評価を行い、その評価に基づき、5つの施策ごとの総括的な評価を行いました。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行いました。

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

3 報告書の構成

(1) 全体構成

報告書は〔1 ア 教育環境の整備促進〕、〔1 イ 活力ある学校教育の推進〕、〔2 生涯学習の推進、文化の充実〕、〔3 「生きる力」を育む学校教育の推進〕、〔4 公民館活動の推進〕及び〔5 地域の教育・文化の向上発展〕の5つの施策ごとに構成されています。

(2) 重点項目の点検（平成27年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

(3) 重点項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

各重点項目について、具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、成果・課題等を評価しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆平成28年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
二本柳 信行	むつ市連合PTA会長
松本 淳	元 苫生小学校長
渡邊 悟	元むつ市企画部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検・評価アドバイザー会議（平成28年8月4日）
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
・点検及び評価の実施方法に関する意見について
・説明担当課：生涯学習課、中央・川内・大畑・脇野沢公民館、図書館
- ・第2回点検・評価アドバイザー会議（平成28年8月5日）
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
・点検及び評価の実施方法に関する意見について
・説明担当課：総務課、学校教育課

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・記載内容については、報告書全体を通し統一すること。
- ・文章、語句等は、市民にわかりやすく且つより適切な表現に改めること。
- ・計画と実績を対比させ、比較できるように標記すること。また、成果と課題について事業順に整理して標記すること。

〈実施事業の内容に関する主な意見〉

- ・委員の再任期間の見直しなど、現状を把握し、課題改善に努めており評価できる。
- ・文化・芸術面で、子ども達が高いレベルに触れる機会が図られる事業は評価できる。今後も継続して欲しい。
- ・教育委員会内で事業日程が重ならないよう事前調整に努めること。

〈引き続き検討することとした主な意見〉

- ・教育上有益な事業実施や人員確保について、継続及び新規実施について検討して欲しい。
- ・市役所内の異なる部署で、類似した事業の実施が見受けられる。国の所管が異なるなどの事情はわかるが、市民目線に立った事業実施を検討して欲しい。
- ・その他、教育行政全般にわたり、適切なアドバイスがあった。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◇おつ市教育基本計画

【基本方針】

おつ市教育委員会は、「人と自然が輝く やすらぎと活力の大地 陸奥の国」を目指し、人間尊重の精神を再考し、生涯学習の基本的な使命を追求する。特に一人一人の自己実現、個人の資質・能力の向上、国際社会の一員として生き抜く人間像を志向して、健康で自ら学ぶ意欲を持ち、創造的で実践力に富む、おつ市民の育成に努める。

次の世代を担っていく若者を育成するために、基礎・基本の徹底と確かな学力の定着を図り、生きる力と夢を育む学校教育を実現し、生涯にわたる基盤づくりを推進する。併せて一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育を通して、人間性や社会性など豊かな心と健やかな体を育成する。

また、この変化の速い社会経済情勢をよく考え、市民相互のふれあいや自然との融合を考えた多彩な文化創造を推進する。

1 ア 教育環境の整備促進 (担当課：総務課総務グループ・施設健康グループ)

【重点項目】

- (1) 学校規模の適正化
- (2) 安全・安心な教育環境の整備
- (3) 時代に対応した教育内容の充実

■ 重点項目の点検（平成27年度の具体的な取り組み状況） ■

(1) 学校規模の適正化

事業名		児童生徒通学輸送事業	
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。 関根地区（烏沢） 奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢） 大湊地区（角違・城ヶ沢） 川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川） 大畑地区（小目名・赤川） 脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢） ※ 計画人数：241人	実績	輸送時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。 関根地区：14人 奥内地区：33人 大湊地区：30人 川内地区：76人 大畑地区：55人 脇野沢地区：30人 ※ 実績人数：238人
予算	予算総額 101,692,531 円 (内訳) バス委託料 関根地区 7,833,024 円 奥内地区 16,215,552 円 大湊地区 16,617,515 円 川内地区 24,708,632 円 大畑地区 19,808,064 円 脇野沢地区 16,509,744 円	決算	決算総額 94,890,960 円 (内訳) バス委託料 関根地区 7,646,400 円 奥内地区 15,811,200 円 大湊地区 16,450,560 円 川内地区 22,226,400 円 大畑地区 16,653,600 円 脇野沢地区 16,102,800 円

【成果】

輸送時の事故はなく、安全な輸送を行うことができた。今後も児童生徒の安全を第一に考えた安全な輸送に努める。

スクールバス運行経路

地区	運行区間
関根地区	烏沢～出戸～関根小
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・川内中 蛸崎～宿野部～川内小・川内中 湯野川～安部城～川内小・川内中
大畑地区	赤坂～関根橋～正津川～大畑小～大畑中 赤川～大畑小～大畑中
脇野沢地区	源藤城～脇野沢小～脇野沢中 九艘泊～脇野沢中～脇野沢小 小沢～深石～脇野沢小～脇野沢中

【課題】

現在、運行委託を行っている川内・脇野沢地区の市有バスが老朽化しており、車両の更新を随時行っていく方針だが、中・大型バスの納期にかなりの時間を要するため、その間の運営の仕方を考える必要がある。

また、バス料金負担軽減策として、へき地児童生徒援助費等補助金の申請をし、負担軽減に努めていく。

(2) 安全・安心な教育環境の整備

事業名		脇野沢小学校建設事業	
概要	脇野沢小学校は、昭和43年に建設された鉄筋コンクリート造二階建てで、耐震補強優先度調査で最優先と判定され構造、設備の施設環境は劣悪な状況にある。学校建設により児童の教育環境の整備が図られ、小中一貫併設校による一貫教育の実施により学力の向上を図る。脇野沢中学校に校舎棟を増築し、屋内運動場は建設しない。		
計画	平成26年度 地質調査 平成27年度 実施設計 建設工事 引越業務	実績	平成26年度 地質調査 平成27年度 実施設計 建設工事 引越業務
予算	予算総額 284,989,000 円 (内訳) 建設工事 268,259,000 円 工事監理 8,241,000 円 引越業務 1,301,000 円 備品購入 7,000,000 円 確認申請 188,000 円	決算	決算総額 279,298,000 円 (内訳) 建設工事 263,153,000 円 工事監理 8,100,000 円 引越業務 997,000 円 備品購入 6,923,000 円 確認申請 125,000 円

事業名		関根中学校建設事業	
概要	関根中学校は、昭和38年に建設された木造二階建てで、老朽化が著しく雨漏りや冬期間には雪が吹き込み施設の環境は劣悪な状況にある。学校建設により生徒の教育環境の整備が図られ、小中一貫併設校による一貫教育の実施により学力の向上を図る。関根小学校に校舎棟を増築し、屋内運動場は建設しない。		
計画	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画 平成26年度 耐力度調査 平成27年度 学校規模再検討	実績	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画 平成26年度 耐力度調査 平成27年度 学校規模再検討
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円



脇野沢小学校 外観

事業名	小・中学校非構造部耐震化事業		
概要	市内小学校13校、中学校9校の吊り天井などの非構造部材について調査し、耐震化を実施することで学校施設の安全及び防災向上を図る。 三田小、奥内小、大平小、大湊小、大平中、大湊中学校屋内運動場にある危険天井を撤去するなど、6校について改修設計及び耐震化工事を実施する。		
計画	平成26年度 耐震化調査 改修設計 平成27年度 耐震化工事	実績	平成26年度 耐震化調査 改修設計 平成27年度 耐震化工事
予算	予算総額 198,736,000 円 (内訳) 改修工事 192,942,000 円 工事監理 5,794,000 円	決算	決算総額 169,246,800 円 (内訳) 改修工事 164,062,800 円 工事監理 5,184,000 円

事業名	その他小中学校の施設・設備の整備事業 (川内中学校給水管改修工事)		
概要	昭和53年建設の川内中学校の給水管について経年変化による劣化が著しく交換を必要としている部分を改修し、良好な学校環境を整備する。		
計画	給水管改修工事	実績	給水管改修工事
予算	予算総額 5,970,000 円 (内訳) 改修工事 5,499,000 円 設計委託 471,000 円	決算	決算総額 5,518,800 円 (内訳) 改修工事 5,065,200 円 設計委託 453,600 円



大湊中学校講堂天井改修工事後



川内中学校給水管改修工事後

【成果】

- ・協野沢小学校建設事業は717㎡の新校舎が3月10日に完成、3月27日に引越しを実施し、4月1日から使用を開始している。
- ・関根中学校建設事業は基本設計では3階建て2,214㎡となっていたが、関根小学校・関根中学校と協議を重ね特別教室を併用することや、2・3階からの渡り廊下を取止めとすることで、1階建て624㎡まで規模を縮小することができた。
- ・小・中学校非構造部耐震化調査改修事業は6校の改修工事が3月25日に完了し、安全性を確保している。
- ・川内中学校給水管改修工事は9月4日に完了し、漏水のない健全な学校運営が可能となった。

【課題】

- ・協野沢小学校建設事業及び非構造部材耐震化事業は、工事は完成しているが、日頃より安全確保に努めなければならない。
- ・学校としての機能の他に地域コミュニティ、防災、地域交流機能などの詳細な仕様を詰める必要がある。
- ・施設・設備の整備事業については、施設の長寿命化を図りつつ効率的な改修に努める必要がある。

(3) 時代に対応した教育内容の充実

事業名	防犯ブザー購入事業		
概要	市内小学校全児童及び平成28年度新入学児童に対し、通学時における安全を確保するため、防犯ブザーを配る。		
計画	全児童及び平成28年度新入学児童に配るため、児童用防犯ブザーを購入する。	実績	(H28.1.6時点) 平成27年度児童数 2,911名 平成28年度新入学児童数 420名 購入数 3,381個 (残数50個は転入生対応用)
予算	予算額 0 円	決算	決算総額 2,456,286 円 (内訳) 購入費 2,456,286 円

【成果】

通学路及びその周辺における犯罪被害の防止につながり、通学時における安心・安全の確保が図られた。

【課題】

学校環境の安全性向上については、学校内外を問わず児童生徒の安心・安全を確保し、児童生徒自身及び保護者の方々が安心して学校生活を送れるよう、学校・家庭・地域・行政機関が一体となって、迅速及び適切に取り組んでいかなければならない。

防犯ブザー購入事業も、通学中の安全を確保するために、今後とも継続していく必要がある。あわせて、児童生徒に対する防犯教育も充実させていかなければならない。

1 イ 活力ある学校教育の推進（担当課：総務課学務グループ・施設健康グループ）

【重点項目】

- (1) 教職員の適正・適切な配置
- (2) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (3) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (5) 学校評議員制度の充実
- (6) 幼稚園への就園奨励
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

■ 重点項目の点検（平成27年度の具体的な取り組み状況） ■

(1) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他人事管理				
概要	より良い教育環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。				
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ・代替教員の配置を適正に行う。 ・服務規律の確保の徹底を図る。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ・代替教員の配置については、概ね適正な配置ができたものの人材不足のため、配置が遅れる学校もあった。 		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

【成果】

人事異動方針に則り、概ね適正な教職員の配置が行われた。

【課題】

- ・教諭の不足により本来なら教諭が配置されるべきところへ、臨時講師で対応している学校もあるため教諭の採用増が望まれる。
- ・通常学級に在籍する個別指導が必要な児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。現在は、市のスクールサポーター等で対応はしているものの、教科指導のできる教員の増員が望まれる。
- ・平成27年度より、あおもりっ子育みプランが拡充され、従来の小学校3年生までから、小学校4年生まで対象となった。しかし、さらにきめ細かい教育を推進するためには、上位学年にも少人数学級の実現が望まれる。
- ・平成27年度は、教職員の重大な服務規律違反はなかったものの、交通違反については後を絶たない状況にあるため、引き続き服務規律の確保の徹底を強く指導していく必要がある。

(2) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会		
概要	市立の小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	必要に応じて行う。	実績	なし
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【課題】

県内有数のマンモス校となっている田名部中学校（生徒数714名・学級数24クラス（平成27年5月1日現在、特別支援学級4クラスを含む））について、今後の生徒数の減少傾向（平成32年度・651名）及び同校へ進学する各小学校の通学区域と併せて、慎重に調査・研究していく必要がある。

(3) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校統合のための地域説明会等の開催		
概要	むつ市教育プランに沿ったよりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	必要に応じて行う。	実績	なし
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【課題】

平成27年1月に文部科学省が策定した「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」で示された統合について、速やかに検討する必要があるとする目安である複式学級が存在する規模の学校が小学校5校、クラス替えのできない規模の学校が小学校2校、中学校5校となっている。

教育委員会として、児童生徒の教育条件の改善の観点を第一義に教育委員会としての方針を考えていかなければならない。

(4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、修学旅行費を給付し就学の援助を図る。（生活保護受給世帯）		
計画	対象者 20人 支給額 1,395,000円	実績	対象者 22人 支給額 1,440,882円
予算	予算総額 1,395,000 円 (内訳) 児童分 405,000 円 生徒分 990,000 円	決算	決算総額 1,440,882 円 (内訳) 児童分 444,800 円 生徒分 996,082 円

事業名		準要保護児童生徒援助事業	
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。		
計画	対象者 442人 支給額 45,020,460円	実績	対象者 507人 支給額 48,300,548円 (うち、被災児童生徒分 2人 支給金額 145,800円)
予算	予算総額 45,020,460 円 (内訳) 学用品費 8,099,733 円 新入学学用品費 2,212,000 円 修学旅行費 9,855,000 円 校外活動費 327,400 円 給食費 24,526,327 円	決算	決算総額 48,300,548 円 (内訳) 学用品費 8,939,334 円 新入学学用品費 2,312,000 円 修学旅行費 9,524,824 円 校外活動費 193,700 円 給食費 27,330,690 円

事業名		特別支援教育就学奨励事業	
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	対象者 72人 支給額 3,454,730円	実績	対象者 66人 支給額 2,638,267円
予算	予算総額 3,454,730 円 (内訳) 学用品費 563,720 円 新入学学用品費 150,990 円 修学旅行費 386,250 円 校外活動費 138,780 円 通学費 139,200 円 給食費 2,075,790 円	決算	決算総額 2,638,267 円 (内訳) 学用品費 479,437 円 新入学学用品費 67,570 円 修学旅行費 315,135 円 校外活動費 76,175 円 通学費 0 円 給食費 1,699,950 円

【成果】

基本的には前年度の収入により認定されるが、離婚や傷病による就労不能等に柔軟に対応しており、援助が必要な家庭のほとんどは支給対象となっていると思われる。

【課題】

認定基準の拡大や支給費目の拡大、新入学学用品費の早期支給に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、市財政当局とも協議の上、検討していく必要がある。

(5) 学校評議員制度の充実

事業名	学校評議員の管理		
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために学校評議員を配置する。		
計画	評議員数 95人 会議開催 66回 (3回×22校)	実績	評議員数 85人 会議開催 62回
予算	予算総額 950,000 円 (内訳) 評議員報酬 250,000 円 費用弁償 700,000 円	決算	決算総額 832,727 円 (内訳) 評議員報酬 217,000 円 費用弁償 615,727 円

【成果】

- ・各校とも、3～5人の学校評議員を任命し、ほとんどの学校で年3回の会議を持ち評議員の意見を聴き、学校経営に反映させている。
- ・取扱要綱を改正し学校評議員の再任期限である3年を撤廃したことにより、人材の選任が難しい小規模校における人材の確保や今まで貴重な意見をいただいていた方を再任できないという問題の解消を図った。

(6) 幼稚園への就園奨励

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業		
概要	幼稚園教育の振興を図る目的で、それぞれの世帯の所得に応じて、保育料等を減免措置した幼稚園設置者に対し、就園奨励費として補助する。		
計画	対象者 3園 171人 補助金額 24,541,000円	実績	対象者 5園 126人 補助金額 17,464,300円
予算	予算総額 24,541,000 円 (内訳) 補助金 24,541,000 円	決算	決算総額 17,464,300 円 (内訳) 補助金 17,464,300 円

【成果】

子ども子育て支援新制度に移行しない市内の私立幼稚園3園及び、市に住所を有する園児が在園する市外の私立幼稚園2園に対し、滞りなく補助金を交付することができた。

【課題】

平成27年度より子ども子育て支援新制度が実施され、市内8幼稚園のうち5幼稚園は新制度に移行したものの、今後も幼稚園の希望により新制度と就園奨励費制度のいずれかを選択できるため、その動向の把握に努め適切に対応したい。

(7) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金の貸与・返還の管理	
概要	当市の人材育成のために修学上必要な学費の一部を貸与し、貸与が終了した者については返還のための納付書の送付や、滞納者に対する督促状の送付を行う。また、寄附金や預貯金により発生した利子を基金に繰り入れ、育英基金の適正な管理運営に努める。		
計画	貸与 返還 現年度分 滞納分	43,380,000円 48,061,500円 25,665,000円	実績
画面			貸与 返還 滞納分 (現年度分には残金一括払分を含む) ①文書督促 本人 72件 保護者 68件 連帯保証人 60件 ②電話督促 40件
予算	予算総額 (内訳) 貸付金 積立金	91,069,000 円 43,380,000 円 47,689,000 円	決算
			決算総額 (内訳) 貸付金 積立金
			104,851,361 円 40,515,000 円 64,336,361 円

【成果】

中学校や高等学校へのチラシの配布やホームページでの広報などを積極的に行い、貸与申請者が前年を大きく上回った。(申請者総数 平成26年度：33件 平成27年度：46件)

【課題】

- ・入学時、一時金として支給してほしい、連帯保証人になってくれる人がいない等の相談が窓口に寄せられている。また、市議会及び奨学生選考委員から給付型奨学金を創設について意見が出されている。これらを調査研究していく必要がある。
- ・返還金滞納分が例年10数%の収納率しかない。督促に応じない滞納者や連絡の取れない滞納者もあり、新たな徴収対策として、他の自治体等で実施している簡易裁判所への支払督促や未収金の回収業務の外部委託の導入なども研究していく必要がある。

(8) 学校保健の充実

事業名		健康診断委託事業	
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。		
計画	対象児童生徒数： 4,715人 対象教職員数： 428人	実績	受診児童生徒数： 4,582人 受診教職員数： 290人 ※教職員の未受診者は当事業以外の人間ドックを受診している。
予算	予算総額 8,644,000 円 (内訳) 委託料 8,644,000 円	決算	決算総額 8,062,056 円 (内訳) 委託料 8,062,056 円

事業名		学校医委託事業	
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。		
計画	①学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人 児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人 児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ②学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×15人 児童生徒数501人以上 @291,200円×4人 ③学校薬剤師 @157,000円×22人 ④産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人 ⑤眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) 眼科医(大畑) @200,000円×1人 眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人	実績	①学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人 児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人 児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ②学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×16人 児童生徒数501人以上 @291,200円×3人 ③学校薬剤師 @157,000円×22人 ④産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人 ⑤眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) 眼科医(大畑) @200,000円×1人 眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人
予算	予算総額 15,942,000 円 (内訳) 委託料 15,942,000 円	決算	決算総額 15,874,200 円 (内訳) 委託料 15,874,200 円

事業名	学校災害児童生徒医療費給付事業		
概要	日本スポーツ振興センター法の規定により、保護者の同意を得て児童生徒との間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して、児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 一般：945円 準要保護：715円 要保護：55円	実績	日本スポーツ振興センター災害共済 加入者：4,582人 災害発生件数：491件 医療費給付額：4,805,791円
予算	予算総額 4,373,000 円 (内訳) 負担金 4,373,000 円	決算	決算総額 4,225,875 円 (内訳) 負担金 4,225,875 円

事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会に協賛する。		
計画	むつ市学校保健会補助金 ①むつ下北学校保健会負担金 155,000円 ②むつ市学校保健会活動費 21,000円	実績	むつ市学校保健会補助金 ①むつ下北学校保健会負担金 151,310円 ②むつ市学校保健会活動費 20,580円
予算	予算総額 176,000 円 (内訳) 補助金 176,000 円	決算	決算総額 171,890 円 (内訳) 補助金 171,890 円

事業名	学校災害入院補償事業		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	①入院15日以下（10,000円） 10人 ②入院16日以上30日以下 （20,000円） 5人	実績	①入院15日以下（10,000円） 3人 ②入院16日以上30日以下 （20,000円） 1人 ③入院31日以上60日以下 （30,000円） 1人
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 80,000 円 (内訳) 補償補填 80,000 円

【成果】

前年度に引続き、感染性胃腸炎やインフルエンザの流行防止のため、嘔吐物処理キットの配布及び手洗いの徹底の呼びかけを実施し、流行防止に努めた。また、来年度の学校保健安全法の改正に伴い健康診断の実施方法が変更されることから、健康診断票の改訂（「四肢」の追加及び「寄生虫卵」・「座高」の削除）及び各校で劣化が進んでいた色覚検査表の購入を実施した。

【課題】

当市における肥満傾向児出現率について、平成27年度より「むつ☆健康マイレージ」が開始され、子ども達は直接参加できないが家族チャレンジとして取り組む機会ができたことから、前年度から若干の改善が見られた。しかし、全国及び青森県全体と比較すると依然高い状況にあり、「むつ☆健康マイレージ」を通じて生活習慣をより改善できるよう、更に参加を促す工夫が必要である。

平成27年度 肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

性別	市町村	単位	小学校						中学校					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
男	むつ市	受検者数	256	219	238	244	239	283	1,479	284	256	285	825	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	9	18	18	12	17	19	93	23	17	11	51	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	14	9	18	23	19	25	108	22	13	24	59	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	0	3	5	9	9	13	39	3	4	9	16	
		肥満計	23	30	41	44	45	57	240	48	34	44	126	
		肥満傾向児出現率	%	8.98	13.70	17.23	18.03	18.83	20.14	16.23	16.90	13.28	15.44	15.27
		青森県肥満傾向児出現率	%	5.35	6.14	9.38	15.53	14.54	16.59		11.89	11.36	11.02	
全国肥満傾向児出現率	%	3.74	5.24	6.70	8.93	9.77	9.87		9.87	8.37	7.94			
女	むつ市	受検者数	228	228	250	235	243	261	1,445	272	291	258	821	
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	11	17	13	16	15	21	93	22	22	20	64	
		中等度肥満 (肥満度30%以上50%未満)	8	5	19	18	7	16	73	18	16	17	51	
		高度肥満 (肥満度50%以上)	2	3	6	6	7	5	29	5	8	6	19	
		肥満計	21	25	38	40	29	42	195	45	46	43	134	
		肥満傾向児出現率	%	9.21	10.96	15.20	17.02	11.93	16.09	13.49	16.54	15.81	16.67	16.32
		青森県肥満傾向児出現率	%	4.82	10.41	8.89	9.72	7.92	12.14		10.70	11.09	9.82	
全国肥満傾向児出現率	%	3.93	5.00	6.31	6.99	7.42	7.92		8.36	7.69	7.14			

※出典：平成27年度学校保健調査

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

(9) 学校給食の充実

事業名	学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場10施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。	
計画	直営施設の共同調理場2施設、単独調理場10施設の維持管理及び共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供を行う。	実績 直営12施設の維持管理費として ・賃金 臨時職員32人 44,257,126円 ・消耗品費 6,955,541円 ・燃料費 13,414,626円 ・修繕費 896,947円 ・検査手数料等 1,983,433円 ・負担金等 64,700円 ・協野沢地区運搬業務委託 3,240,000円 ・厨房排水設備汚泥処理・運搬業務委託 388,044円 北通地区学校給食調理業務委託費 ・調理・運搬業務委託 43,100,000円
予算	予算総額 118,618,289 円 (内訳) 賃金 45,010,000 円 需用費 (燃料費、消耗品費等) 23,384,245 円 役務費 (点検検査手数料等) 2,394,000 円 委託料 47,763,044 円 負担金 40,000 円 公課費 27,000 円	決算 決算総額 114,300,417 円 (内訳) 賃金 44,257,126 円 需用費 (燃料費、消耗品費等) 21,267,114 円 役務費 (点検検査手数料等) 1,983,433 円 委託料 46,728,044 円 負担金 39,500 円 公課費 25,200 円

事業名		学校給食厨房機器・用具整備、学校給食設備整備事業	
概要		「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具を修繕又は購入し学校給食機器、設備の整備を図る。	
計画	①現有機器の修繕及び調整	実績	①現有機器の修繕及び調整
	②老朽機器の更新		<ul style="list-style-type: none"> ・修繕 41件 2,830,711円 ・調整 6件 49,032円 ②老朽機器の更新 12件 1,928,600円 ・ガス回転釜 3基 813,672円 (一田小、苫生小、むつ中) ・野菜調理機 2基 546,911円 (大平小、むつ中) ・その他 10件 568,017円
予算	予算総額	決算	決算総額
	(内訳) 修繕費 2,830,711円 手数料 173,000円 備品購入費 1,967,000円		(内訳) 修繕費 2,830,711円 手数料 49,032円 備品購入費 1,928,600円

【成果】

- ・児童生徒への安全・安心な給食を提供するために、安全管理及び衛生管理に努めた。
- ・全国的に調理施設を介したノロウイルスの集団感染が多く発生したため、調理従業員の衛生管理を徹底し、食中毒等の発生予防に努めた。
- ・食物アレルギーを有する児童生徒の給食提供のために、調理機器及び食器等を購入し給食の誤配防止対策を行った。

【課題】

- ・各調理施設にある機器は、耐用年数が過ぎた機器が多いため、故障が多く発生し修繕費がかさむ状況にある。また多くの機器は部品の保証期間が過ぎており、部品補償が受けられないことから、抜本的な修繕ができず、臨時的な対処にならざるを得ない状況にある。給食の安定した提供のためにも、老朽機器の更新を進める必要がある。
- ・全国的にノロウイルスによる集団感染が多く発生しており、調理場及び学校内での衛生管理の維持が課題となっているが、現調理場は老朽化した施設が多く、衛生環境の維持に苦慮している状況である。
- ・近年、食物アレルギーを有する児童生徒が多くなっており、事故防止のために調理機器、食器の購入等の対応を行っているものの、現調理場では、独立した調理スペースを確保できずアレルギー対策としては十分とは言えない状況である。また衛生環境の維持の観点からも調理場の大規模な改修や新調理場の建設等を検討する必要がある。

2 生涯学習の推進 文化の充実 (担当課：生涯学習課)

【重点項目】

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 家庭・学校・地域の連携促進
- (3) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (4) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用
- (5) 社会教育施設の充実

■ 重点項目の点検 (平成27年度の具体的な取り組み状況) ■

(1) 生涯学習の推進

事業名		社会教育委員の配置	
概要	社会教育法の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を委嘱する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例による定数：13人以内 ・ 任期満了による新委員の選任 ・ 会議開催回数：年3回 ・ 下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動 ・ 青森県社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動 ・ 委員の資質向上のため、各種研修会への参加 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13名委嘱(うち新委員3名) 任期：H27. 10. 1～H29. 9. 30 ・ 社会教育委員の会議：2回開催 ・ 下北地区社会教育委員連絡協議会 総会・研修会(むつ市)参加者10名 ・ 下北地区社会教育研究大会 (大間町)参加者7名 ・ 青森県社会教育研究大会 (青森市)参加者6名
予算	予算総額 764,000 円 (内訳) 報酬 481,000 円 費用弁償 266,000 円 消耗品費 6,000 円 負担金 11,000 円	決算	決算総額 521,448 円 (内訳) 報酬 312,000 円 費用弁償 187,948 円 消耗品費 10,500 円 負担金 11,000 円

事業名		社会教育指導員による学習支援	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、特定分野(青少年・成人教育及び文化財保護)についての直接指導及び学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育指導員配置数：1人 ・ 社会教育に関する調査、研究、資料の収集 ・ 「むつ市社会教育行政」の作成 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育指導員1人を配置し、社会教育の振興に効果的な役割を果たした。 ・ 「むつ市社会教育行政」の作成 190部作成 ・ 社会教育団体・サークル情報の市ホームページでの紹介
予算	予算総額 1,716,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 費用弁償 54,000 円 消耗品費 12,000 円 印刷製本費 94,000 円	決算	決算総額 1,659,971 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 費用弁償 8,436 円 消耗品費 3,175 円 印刷製本費 93,160 円

事業名	弘前大学生涯学習講演会の開催		
概要	弘前大学生涯学習研究センターと連携し、市民に高度で専門的な高等教育機関の学習機会を提供し、生涯学習の振興を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・受講料無料の公開講演会：年2回 ・協力団体：まさかり学友会 <p>※まさかり学友会 あおもり県民カレッジ登録者で、 下北在住者により構成されている 団体の名称</p>	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会開催 テーマ「少子高齢化がもたらす地域課題」 第1回 6月13日 参加者40人 第2回 6月27日 参加者37人 協力団体：まさかり学友会 あおもり県民カレッジ、高校生スキルアッププログラム単位認定講座
予算	予算総額 1,800 円 (内訳) 食糧費 1,800 円	決算	決算総額 1,200 円 (内訳) 食糧費 1,200 円

事業名	成人式の開催		
概要	二十歳を迎える若人を祝福し、将来のむつ市を担う市民としての自覚を促し、有権者としての意識の高揚を図る。		
計画	対象：平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの市内在住者及び参加希望者 対象者数：661人	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日：1月10日 ・参加者：426人 ・内容：大湊幼稚園児による和太鼓、ダンスチーム「ティアアラ」によるバレエ、むつ市出身 Sinonによる歌のメッセージ
予算	予算総額 787,000 円 (内訳) 報償費 501,000 円 旅費 68,000 円 消耗品費 16,000 円 印刷製本費 133,000 円 食糧費 3,000 円 手数料 62,000 円 使用料 4,000 円	決算	決算総額 656,283 円 (内訳) 報償費 399,280 円 旅費 22,660 円 消耗品費 25,941 円 印刷製本費 141,426 円 食糧費 2,500 円 手数料 64,476 円 使用料 0 円

事業名	あおもり県民カレッジ情報の提供		
概要	いつでも、どこでも、自分のペースで学ぶことができるあおもり県民カレッジの単位認定講座の情報提供を行うとともに、学習機関と連携し「学習」「評価」「活用」の各場면을総合的に支援する。		
計画	あおもり県民カレッジと連携を図り、カレッジ登録の学生と併せて、市民に幅広く学習機会を提供する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・下北地区学習団体「まさかり学友会」と事業での連携を図った。 ・市政だよりやチラシ等で市民に広く周知した。 ・認定講座：2講座
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	放送大学むつ校の情報提供、利用充実にに向けた講演会の支援			
概要	むつ市立図書館内にある「放送大学青森学習センターむつ校」の利用促進に努め、市民の学習意欲の向上を図る。			
計画	<ul style="list-style-type: none"> 放送大学についての情報提供 公開講演会の開催 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 広報むつ等による放送大学入学生の募集。 公開講演会開催数：1回 ※むつ校利用者数：延べ41人 	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

事業名	自然観察会の開催			
概要	季節毎の自然の営みを観察することで、市民がふるさとの豊かな自然や新たな魅力を知る機会を提供する。			
計画	<ul style="list-style-type: none"> 春の渡り鳥観察 夏の夜の星座観察 夜行生物観察 越冬する野鳥観察 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 5月24日 春の野鳥観察 (葉研・奥葉研) 参加者13人 8月21日 夏の夜の星座観察 (はらっぱる) 参加者14人 10月29日 秋に渡る野鳥観察 (尻屋崎) 参加者4人 1月17日 越冬する野鳥観察 (川内川周辺) 参加者17人 	
予算	予算総額	60,000 円	決算 決算総額	57,500 円
	(内訳) 報償費	60,000 円	(内訳) 報償費	57,500 円

【成果】

- 委員の研鑽の場である、青森県社会教育研究大会において、当市の活動内容をポスターセッション及び分科会で紹介することができた。また、他地区の活動を知ることができた。
- サークル団体等の情報提供や学習相談及び学習機会の提供ができた。
- 生涯学習の推進を図るため、高等教育機関(弘前大学)や社会教育関係機関と連携し、市民に学習機会の提供ができた。

【課題】

- 市民の学習ニーズの把握に努め、学習プログラムがニーズにマッチしているか検討する必要がある。
- 自然観察会において、市が推進しているジオパーク活動を取り入れるよう検討していく。



平成28年 むつ市成人式



自然観察会の様子

(2) 家庭・学校・地域の連携促進

事業名		放課後子ども教室推進事業																					
概要	<p>文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（保健福祉部所管「なかよし会」）」で構成される「放課後子ども総合プラン」に基づき実施している。</p> <p>放課後子ども教室では、全ての子どもたちを対象に、安全で健やかな居場所作りの推進を目的に、地域の大人が放課後等に子どもたちを見守る体制をつくる。</p>																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ地域放課後子どもプラン運営委員会」を開催する。 ・各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会：委員11名、会議開催2回 ・子ども教室数：4教室 ・コーディネーターの配置：4人 ・教育活動サポーターの登録：21人 ・内容：スポーツ、農園づくり、読み聞かせ、工作等 ・子ども教室開催回数：508回 ・参加者数：延べ3,793人 																				
予算	<table> <tr> <td>予算総額</td> <td>3,251,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>2,903,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>188,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>130,000 円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>30,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	3,251,000 円	(内訳) 報償費	2,903,000 円	費用弁償	188,000 円	消耗品費	130,000 円	保険料	30,000 円	決算	<table> <tr> <td>決算総額</td> <td>3,023,186 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>2,742,200 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>101,055 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>152,631 円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>27,300 円</td> </tr> </table>	決算総額	3,023,186 円	(内訳) 報償費	2,742,200 円	費用弁償	101,055 円	消耗品費	152,631 円	保険料	27,300 円
予算総額	3,251,000 円																						
(内訳) 報償費	2,903,000 円																						
費用弁償	188,000 円																						
消耗品費	130,000 円																						
保険料	30,000 円																						
決算総額	3,023,186 円																						
(内訳) 報償費	2,742,200 円																						
費用弁償	101,055 円																						
消耗品費	152,631 円																						
保険料	27,300 円																						

【成果】

地域社会の中で、子どもたちが互いに協力する大切さを学ぶことができ、地域の大人たちと関わることによって、子どもたちが成長できる良い機会を提供できた。また、安全・安心な居場所の提供により、心の安定を図ることができた。

【課題】

- ・地域ボランティアの確保が難しく、コーディネーター、サポーターの確保が難しい。
- ・学校内に運営場所の確保が難しく、一体型あるいは連携型の事業ができない。



放課後子ども教室 食育教室の様子



放課後子ども教室 野外活動の様子

(3) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名		むつ市文化団体等支援事業	
概要	むつ市文化団体協議会は、市内の芸術文化団体(44団体)で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している。また、「第九の会」など団体独自の発表会や演奏会等の活動を展開している文化芸術団体活動の支援を行う。		
計画	「市民文化祭」などの事業に対し、会場費及び活動費の補助を行う。	実績	①民間の助成を活用したコンサート ・「宝くじおしゃべり音楽会」 8月23日 下北文化会館 入場料を特別料金に設定 入場者数 754人 ②下北文化会館会場借上助成 ・第46回むつ市民文化祭 10月29日～11月8日 ・第26回男声合唱フェスティバル むつ大会 8月30日 ・「第九」演奏会 11月28日 リハーサル 11月29日 演奏会当日 ③共催・後援 共催承認 1件、後援承認 21件 ④むつ市文化団体協議会の事業への補助 74,000円
予算	予算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円	決算	決算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円

事業名		むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	
概要	市で表彰している文化賞・文化奨励賞受賞者の功績を広く市民に披露して、受賞者を顕彰すると共に、市民の芸術文化の魅力や楽しさを味わっていただく。		
計画	・全国、県レベルでの文化・芸術分野で受賞歴のある方の情報収集 ・市文化賞・文化奨励賞受賞者の作品紹介展の開催	実績	・市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示会 2月6日～11日 市立図書館
予算	予算総額 67,000 円 (内訳) 報償費 0 円 賃金 29,000 円 消耗品費 32,000 円 手数料 6,000 円	決算	決算総額 77,214 円 (内訳) 報償費 60,000 円 賃金 0 円 消耗品費 17,214 円 手数料 0 円

事業名	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室		
概要	子どもたちが当市とゆかりのある東京藝術大学音楽部教授 佐野 靖氏率いる演奏家と音楽交流をとおして、青少年の健やかな成長と音楽活動の推奨ならびに芸術・文化への関心を高める。		
計画	佐野教授、演奏家が学校訪問し、児童生徒の前で生の演奏を披露する。	実績	訪問校 苫生小学校 7月15日 二枚橋小学校 7月15日 大湊小学校 7月16日
予算	予算総額 610,000 円 (内訳) 報償費 210,000 円 費用弁償 344,000 円 消耗品費 8,000 円 食糧費 4,000 円 使用料 44,000 円	決算	決算総額 541,680 円 (内訳) 報償費 196,000 円 費用弁償 314,120 円 消耗品費 0 円 食糧費 5,400 円 使用料 26,160 円

事業名	民俗芸能の保存と伝承活動の支援		
概要	民俗芸能の保存及び団体育成事業など、伝承や推進を図る。		
計画	各団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。	実績	・財団等助成金情報の提供 11件 ・伝統文化親子教室事業 内容：田名部の山車行事祭囃子内習い ・芸術文化振興基金 内容：地域伝統芸能の伝承と披露 助成団体：上野娯楽会(能舞)
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【成果】

- ・文化賞・文化奨励賞受賞者の活動や作品を紹介し、その功績を広く知らしめることができた。また、市民がその優れた作品等を鑑賞などをすることで、市の芸術文化の振興につながった。
- ・東京藝術大学で学び、全国レベルのコンクールで上位入賞した方の演奏を小学生が鑑賞することで、健やかな成長への寄与と芸術・文化への関心を高めることができた。
- ・国の文化芸術文化振興基金を活用し、10年前に復活した伝統芸能を披露し、市民に郷土芸能の魅力や素晴らしさを伝えることができた。



東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室の様子

【課題】

文化団体の活動をさらに市民に紹介するため、市民文化祭の開催方法等について、団体と協議する必要がある。

(4) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名		文化財保護審議会の設置																					
概要	文化財保護法の規定に基づき、むつ市における文化財の保存及び活用のため、むつ市文化財保護審議会を設置する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例による定数：15名以内 ・ 任期満了による新委員の選任 ・ 会議開催回数：年2回 ・ 下北地方文化財審議委員連絡協議会（下文審）の構成団体として活動 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15名委嘱（うち新委員1名） ・ 任期：H27.12.1～H29.11.30 ・ 文化財保護審議会会議：2回開催 ・ 下文審総会・前期研修会（むつ市） 参加者12名 ・ 下文審後期研修会（風間浦村） 参加者8名 																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>827,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>436,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>359,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>17,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	827,000 円	(内訳) 報酬	436,000 円	費用弁償	359,000 円	消耗品費	15,000 円	負担金	17,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>528,923 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>312,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>191,923 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>8,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>17,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	528,923 円	(内訳) 報酬	312,000 円	費用弁償	191,923 円	消耗品費	8,000 円	負担金	17,000 円
予算総額	827,000 円																						
(内訳) 報酬	436,000 円																						
費用弁償	359,000 円																						
消耗品費	15,000 円																						
負担金	17,000 円																						
決算総額	528,923 円																						
(内訳) 報酬	312,000 円																						
費用弁償	191,923 円																						
消耗品費	8,000 円																						
負担金	17,000 円																						

事業名		自然環境調査事業																					
概要	恵まれた自然環境を有するむつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少野生生物の生息を把握し、情報発信する。																						
計画	<p>①各種調査研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦崎の自然調査（5回） ・ 釜臥山自然調査 ・ 野鳥生態調査 ・ ウグイ遡上調査（5～7月）ほか <p>②調査の成果として文化財調査報告にまとめ発行する。</p>	実績	<p>①各種調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦崎の自然調査 4回実施（5、7、8、10月） ・ 釜臥山自然調査 3回実施（5、6、8月） ・ 野鳥生態調査 各観測地での調査（通年） ・ ウグイ遡上調査 宇曾利山湖鳥ノ沢での調査 （6～7月） <p>②文化財調査報告第44集発行（300部）</p>																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>607,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬費</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>286,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	607,000 円	(内訳) 報酬費	300,000 円	消耗品費	10,000 円	印刷製本費	286,000 円	食糧費	11,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>520,974 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬費</td> <td>266,760 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>29,206 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>215,136 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>9,872 円</td> </tr> </table>	決算総額	520,974 円	(内訳) 報酬費	266,760 円	消耗品費	29,206 円	印刷製本費	215,136 円	食糧費	9,872 円
予算総額	607,000 円																						
(内訳) 報酬費	300,000 円																						
消耗品費	10,000 円																						
印刷製本費	286,000 円																						
食糧費	11,000 円																						
決算総額	520,974 円																						
(内訳) 報酬費	266,760 円																						
消耗品費	29,206 円																						
印刷製本費	215,136 円																						
食糧費	9,872 円																						

事業名		文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業																																																																															
概要	地域の貴重な文化財（遺跡、美術品、記念物等）を後世に伝承すべく、各種調査と保護管理に努め、意識啓蒙を図る。また、特別天然記念物ニホンカモシカ、天然記念物下北半島のサル及びサル生息北限地について、文化財保護法の規定に基づき、地域の実情を考慮した保護及び保存に努める。																																																																																
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の埋蔵文化財包蔵地に関わる対応及び調査 ・文化財防火デーの実施 	実	<ul style="list-style-type: none"> ・開発関連工事立会調査：1件 業者等による周知の埋蔵文化財包蔵地有無照会：51件 ・文化財防火デー 田名部地区：1月26日 防ぎょ訓練（常念寺）、予防査察及び指導、注意喚起等 大湊地区：1月25日 旧大湊水源地水道施設防ぎょ訓練 川内地区：1月27日 防ぎょ訓練（泉龍寺）等 脇野沢地区：1月26日 防ぎょ訓練（船小屋休憩所） 																																																																														
画面	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財パトロールの実施 ・ニホンカモシカの出没情報等の把握及び対応 ・特別天然記念物及び天然記念物に関わる手続き等 	績	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地（124件）、重要文化財並びに県指定文化財（7件）のパトロール ・ニホンカモシカ 目撃情報：31件 滅失届出：7個体 ・下北半島のサル 第1次第2種特定鳥獣管理計画に基づく現状変更 （申請：7群、計217頭）：1件 <p>※開発関連工事立会調査の回数、調査期間等が計画に達しないため、決算総額が大幅に少なくなった。</p>																																																																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>3,410,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>26,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,346,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>14,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>338,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>294,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>20,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>7,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>20,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>汲み取り料</td> <td>7,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,032,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>306,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	3,410,000	円	(内訳)			報酬	26,000	円	賃金	1,346,000	円	報償費	14,000	円	旅費	338,000	円	消耗品費	294,000	円	印刷製本費	20,000	円	保険料	7,000	円	手数料	20,000	円	汲み取り料	7,000	円	委託料	1,032,000	円	備品購入費	306,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>217,462</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>57,288</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>135,695</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>3,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>19,440</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>汲み取り料</td> <td>2,039</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	217,462	円	(内訳)			報酬	0	円	賃金	57,288	円	報償費	0	円	旅費	0	円	消耗品費	135,695	円	印刷製本費	0	円	保険料	3,000	円	手数料	19,440	円	汲み取り料	2,039	円	委託料	0	円	備品購入費	0	円
予算総額	3,410,000	円																																																																															
(内訳)																																																																																	
報酬	26,000	円																																																																															
賃金	1,346,000	円																																																																															
報償費	14,000	円																																																																															
旅費	338,000	円																																																																															
消耗品費	294,000	円																																																																															
印刷製本費	20,000	円																																																																															
保険料	7,000	円																																																																															
手数料	20,000	円																																																																															
汲み取り料	7,000	円																																																																															
委託料	1,032,000	円																																																																															
備品購入費	306,000	円																																																																															
決算総額	217,462	円																																																																															
(内訳)																																																																																	
報酬	0	円																																																																															
賃金	57,288	円																																																																															
報償費	0	円																																																																															
旅費	0	円																																																																															
消耗品費	135,695	円																																																																															
印刷製本費	0	円																																																																															
保険料	3,000	円																																																																															
手数料	19,440	円																																																																															
汲み取り料	2,039	円																																																																															
委託料	0	円																																																																															
備品購入費	0	円																																																																															



自然環境調査（芦崎）



文化財防火デー 防ぎょ訓練の様子

事業名		重要文化財保存修理事業	
概要	「旧大湊水源地水道施設」及び「二枚橋2遺跡出土品」について、保存と活用のため各種調査、修理事業を実施する。		
計画	①旧大湊水源地水道施設 ・修理専門委員会の設置・開催 委員：6名以内 任期：委嘱の日～事業完了まで ・修理に向けた調査・解析等業務委託 ・国庫補助事業（1/2補助） ②二枚橋2遺跡出土品 ・指定品の保存修理業務委託 土器7点、石器2点 ・修理立会、指導監督 ・国庫補助事業（1/2補助）	実績	①旧大湊水源地水道施設 ・修理専門委員会の開催：2回 委嘱委員数：6名 委嘱期間： 平成26年8月26日～完了の日 ・調査報告書納品 （うち国庫補助金：41,257,000円） ②二枚橋2遺跡出土品 ・土器10点、石器2点の修理・修復 保存台1点 ・修理立会（開始前、中間、最終） （うち国庫補助金：1,649,000円）
予算	予算総額 88,454,000 円 (内訳) 報酬 78,000 円 旅費 1,014,000 円 消耗品費 20,000 円 委託料 87,342,000 円	決算	決算総額 86,692,972 円 (内訳) 報酬 65,000 円 旅費 981,202 円 消耗品費 2,770 円 委託料 85,644,000 円

【成果】

- ・芦崎、釜臥山、宇曾利湖のウグイなど、自然分野で調査研究が進められ、まとめとして調査報告書に記載することができた。
- ・重要文化財「旧大湊水源地水道施設」については、保存活用計画に則り、2年間の修理のための調査工事が終了し、今後の修理方法等についての報告書が完成し、次年度からの工事に取りかかることができた。
- ・「二枚橋2遺跡出土品」については、今後の活用に向けて、また、保管していく上で修理事業を着実に進めることができた。
- ・文化財保護の観点から、埋蔵文化財包蔵地等のパトロール、火災予防訓練等を実施し、包蔵地の不当な開発行為の抑止や所有者の文化財保護意識の醸成を図ることができた。



重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）

【課題】

- ・自然調査等に携わる調査員の後継者育成、発掘に努める必要がある。
- ・特別天然記念物ニホンカモシカの滅失処理が広範囲にわたり、職員の負担が大きくなっていることから、新たな体制を検討する必要がある。

(5) 社会教育施設の充実

事業名		文化財収蔵庫の管理・運営			
概要		市内3ヶ所の文化財収蔵庫について、収蔵品の適正な保存をするため管理する。また、むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵していること、未整理の収蔵品もあることから、分析、整理作業と共にデータベース化を進めるため施設管理人を配置する。			
計画		実績	①むつ地区：見学者受け入れ、データ化作業、収集、整理、保管 ②川内地区：民具整理作業（6月～10月、2名） ③脇野沢地区：整理、保管		
画面			①むつ地区 ・施設管理人配置：1名 ・収蔵庫見学受入：20組61名 ・資料寄贈3件 ・資料貸出5件 ・写真提供11件 ・資料調査2件 ②川内地区 ・収蔵物整理 ③脇野沢地区 ・川内へ収蔵物を移動させ、収蔵庫としての機能を廃止 ④清掃整理作業員4名雇用(10日間)		
予算	予算総額	6,725,000 円	決算	決算総額	5,004,898 円
	(内訳)			(内訳)	
	賃金	1,661,000 円		賃金	1,631,290 円
	消耗品費	250,000 円		消耗品費	244,862 円
	電気料	3,346,000 円		電気料	1,740,198 円
	修繕料	0 円		修繕料	41,081 円
	水道料	204,000 円		水道料	216,260 円
	通信料	108,000 円		通信料	128,687 円
	手数料	374,000 円		手数料	347,004 円
	委託料	757,000 円		委託料	655,516 円
	使用料	25,000 円		使用料	0 円

事業名		石造建造物の活用検討			
概要		北の防人大湊地区都市再生整備事業により改修された旧文化財収蔵庫（「北の防人大湊 式番館」に名称変更）を活用し、文化活動等の場の提供、水源池公園周辺の歴史や自然環境などを案内するボランティアガイドの拠点、ジオパークの紹介などを行うため、所要の整備を実施する。			
計画		実績	管理・運営に関する諸整備 ・消耗品、備品の整備 ・電話回線等の整備		
画面			11月引き渡し 冬季除雪業務、消耗品・備品購入、 電話・光回線敷設		
予算	予算総額	6,192,000 円	決算	決算総額	5,119,017 円
	(内訳)			(内訳)	
	消耗品費	500,000 円		消耗品費	645,765 円
	燃料費	12,000 円		燃料費	0 円
	電気料	273,000 円		電気料	192,438 円
	水道料	12,000 円		水道料	5,376 円
	通信料	96,000 円		通信料	46,980 円
	委託料	274,000 円		委託料	0 円
	使用料	25,000 円		使用料	0 円
	備品購入費	5,000,000 円		備品購入費	4,228,458 円

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	豊かな自然を活用して、地域住民の学びの場及び地域を担っていく子どもたちの総合学習の拠点としての役割に加え、県内外からの施設の利用促進を図るため、野外活動の専門的知識と活動のノウハウを持った民間団体を指定管理者とし、各種事業の実施及び施設並びに活動の情報発信を積極的に行っていく。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ①山口和雄所蔵貝殻コレクションの常設展示・その他企画展示 ②海、川の生物展示 ③親子、海の自然学校の開催 ④親子、山の自然学校の開催 ⑤海の自然観察指導員養成講座の開催 	実	<ul style="list-style-type: none"> ①常設展示 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の貝約100種 その他企画展示（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> ・干支にちなんだ生きもの展 ・世界の切手 ②海、川の生物展示 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ湾の生きもの ・ふるさとの川の生きもの ・海の生きものの進化を知ろう ③親子、海の自然学校 5月31日、8月4日・8～9日、9月21日 参加者100名 ④親子、山の自然学校 荒天のため中止 ⑤海の自然観察指導員養成講座 カヌー、シュノーケリング、救急蘇生法講習他 7月26日（雨天中止）、 8月12日、27日（雨天中止） 30日（雨天中止） 9月20日、22日 参加者8名
画面		績	<p>指定管理者 NPO法人 シェルフォレスト川内</p> <p>指定期間 H27. 4. 1～H30. 3. 31</p> <p>指定管理料 27,813千円（3ヶ年）</p>
予算	<p>予算総額 9,271,000 円</p> <p>(内訳) 指定管理料 9,271,000 円</p>	決算	<p>決算総額 9,271,000 円</p> <p>(内訳) 指定管理料 9,271,000 円</p>

事業名		むつ市下北自然の家の管理・運営	
概要	青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の振興に資することを目的に、宿泊型の体験施設を運営する。平成26年度から指定管理者制度を導入し、利便性の向上と利用者の増加を図り、安定した施設の運営を目指す。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数：10,000人 ・主催事業の実施 ・自主事業の実施 ・受入事業の実施 	実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数：9,186人 ・主催事業の実施 22事業 延べ 564名 ・自主事業の実施 6事業 延べ 311名 ・受入事業の実施 136団体 延べ8,311名
画面		績	<p>指定管理者 一般財団法人 むつ市教育振興会</p> <p>指定期間 H26. 4. 1～H29. 3. 31</p> <p>指定管理料 289,800千円（3ヶ年）</p>
予算	<p>予算総額 97,100,000 円</p> <p>(内訳) 修繕料 500,000 円</p> <p>指定管理料 96,600,000 円</p>	決算	<p>決算総額 96,775,200 円</p> <p>(内訳) 修繕料 205,200 円</p> <p>指定管理料 96,570,000 円</p>

【成果】

- ・文化財収蔵庫集約の一部達成ができた。
- ・文化財の活用を図った「旧大湊要港部乙第10号・第11号官舎(石造)」の改修工事が終了し、文化・歴史、自然学習の場として利用できるようになった。
- ・指定管理施設において、民間のノウハウを取り入れ、利用者が満足できるサービスの提供ができた。

【課題】

- ・指定管理施設において、指定管理者制度運用指針に則った運用をしているか、再度指定管理者と協議する必要がある。
- ・文化財の公開・展示ができる施設について、長期的な視点で検討が必要である。



北の防人大湊 貳番館

3 「生きる力」を育む学校教育の推進（担当課：学校教育課）

【重点項目】

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学教育学部との連携強化
- (10) 文化・交流事業の充実

■ 重点項目の点検（平成27年度の具体的な取り組み状況） ■

(1) 小中一貫教育の充実

事業名	小中一貫教育推進事業		
概要	義務教育9年間を通じた系統的な学習指導、生徒指導を実施し、次代を担う人づくりに資するため、小中学校間の連携・接続を図った教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	市内9つの中学校ブロックへ小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。また、小中一貫教育意識調査を実施し、成果と課題の検証に生かす。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全9ブロックの研究実施計画書の作成、配付 ・全9ブロックの研究実施報告書の作成、配付 ・小中一貫教育意識調査の実施と報告書の作成・配付
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円

事業名	小中一貫教育非常勤講師配置事業		
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として9中学校ブロックに9人配置する。	実績	4月1日から3月31日の期間、9人の非常勤講師を採用し、全9ブロックに各1人配置した。
予算	予算総額 19,399,788 円 (内訳) 報酬 16,200,000 円 旅費 3,199,788 円	決算	決算総額 17,842,870 円 (内訳) 報酬 15,814,974 円 旅費 2,027,896 円

事業名	小中一貫教育推進委員会開催事業		
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、むつ市教育プラン後期計画の下、9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図るとともに、次期教育プランの原案を作成する。		
計画	9つあるブロックの長による評価委員会を3回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合い、次期むつ市教育プラン作成のために、これまでの小中一貫教育の総括を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回推進委員会 7/10 (金) 開催 ・第2回推進委員会 11/20 (金) 開催 ・第3回推進委員会 2/2 (火) 開催
予算	予算総額 97,395 円 (内訳) 旅 費 97,395 円	決算	決算総額 97,580 円 (内訳) 旅 費 97,580 円

【成果】

- ・小中一貫教育導入の目的である学力向上、不登校児童生徒減少の両アクションプランの達成に大きく近づくことができた。
- ・3回の推進委員会での話し合いを通して、各ブロック長が他のブロックの取組から自らのブロックで実施可能なものを工夫改善して生かし、広報活動を充実させるなど地域や家庭を巻き込んで実践している。そのため、特に保護者のアンケートが、平成26年度よりも多くの項目で数値が向上してきている。

※アクションプラン：平成23年度からの5年間で青森県学習状況調査の各教科通過率を5ポイント以上あげることと、不登校児童生徒の発生率を県平均よりも下回るようにすること。

【課題】

小中一貫教育非常勤講師は、教員免許を所有している適任者の確保や、所持免許によって派遣する学校側のニーズに必ずしも合致しないこと等課題が多い。ただし、きめ細かい学習指導の少人数指導や個別指導、複式学級解消のための活用など、学校からの要望も多い。

(2) 質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問(計画・要請)、初任者対象のふるさと研修を実施する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付 ・全小・中学校への学校訪問とふるさと研修を実施
予算	予算総額 239,000 円 (内訳) 消耗品費 27,000 円 印刷製本費 209,000 円 医薬材料費 3,000 円	決算	決算総額 227,056 円 (内訳) 消耗品費 24,466 円 印刷製本費 199,152 円 医薬材料費 3,438 円

【成果】

指導の方針と重点についての説明会、全小中学校への計画訪問等を通じて、学習指導要領の趣旨を活かした適切な教育課程の編成と当市の教育課題解決に向けた取組について周知し、必要と思われる指導・助言を行うことができた。

【課題】

教員の多忙化に配慮しつつ、指導の方針と重点に沿った学校教育を一層推進させなければならない。また、むつ市教育プランの最終年度に当たり、新教育プランの趣旨に沿った指導の方針と重点を設定していかなければならない。

(3) 学力向上対策の充実

事業名	学力調査・知能検査実施事業		
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	むつ市総合学力調査を小学校5年生から中学校3年生まで実施する。 知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。	実績	・4月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施 ・4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施
予算	予算総額 4,962,000 円 (内訳) 消耗品費 444,000 円 委託料 4,518,000 円	決算	決算総額 4,642,020 円 (内訳) 消耗品費 437,820 円 委託料 4,204,200 円

事業名	学力向上対策研修会開催事業		
概要	講師を招いての授業研究会の開催や学力分析システムSYENの研修会の開催により、児童生徒の学力向上に向けた教員の指導力の向上を図る。		
計画	・学力分析システムSYENの研修会を開催する。 (むつ中学校ブロック、川内中学校ブロック) ・むつ市学力向上対策研修会を開催する。 (苫生小学校、算数の授業改善)	実績	・7月に2中学校ブロックで学力調査の分析システムの活用を図る研修会を開催 ・10月にむつ市学力向上対策研修会を開催 (市内小・中学校から25名、市外小・中学校から15名参加)
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 報償費 21,000 円 旅費 9,000 円	決算	決算総額 29,700 円 (内訳) 報償費 21,000 円 旅費 8,700 円

※学力分析システムSYEN：個人及び集団の学力の状況を様々な視点から分析し、個々に応じた学習方法などを提示してくれるシステム

事業名	「活用型問題集（ドリームワーク）」作成事業		
概要	むつ市総合学力調査及び青森県学習状況調査の結果を踏まえ、むつ市が目指す、思考力・判断力・表現力豊かな児童生徒の育成につながる問題集を作成し、各校での活用を通し、授業改善や学力の向上を目指す。		
計画	全国学習状況調査のB問題に準じた思考力・判断力・表現力の向上を目的とした問題集を作成する。	実績	小学校4年生用4教科と、中学校1年生用5教科の活用型問題集を作成した。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【成果】

- ・2つの中学校ブロックにおいて、市学力調査の学力分析システムSYENの効果的な活用方法を学ぶ研修会を実施し、実際の児童生徒の指導に生かすことができた。
- ・児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上につながる活用型問題集（ドリームワーク）を作成することができた。

【課題】

- ・平成30年度までの4年間で、9ブロック全てでSYEN研修会を実施しなければならない。
- ・活用型問題集（ドリームワーク）の小学校5・6学年、中学校2・3学年用を作成する必要がある。

（4）生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施事業		
概要	環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。 「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、「アセス」を用いた児童生徒の学校適応感の測定と測定結果への対応の仕方を習得することにより、教員の生徒指導能力の向上を目指す。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・検査対象 小学校3年生から中学校3年生 ・「いじめ・不登校対策研修講座」でアセスの理論と具体的な活用方法を学び、各校で実践する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの心理検査「Q-U」から環境適応感尺度「アセス」への移行期間の1年とした。 ・実施時期や実施回数については、各校の実態に合わせて「アセス」を実施した。
予算	予算総額 60,000 円 (内訳) 消耗品費 60,000 円	決算	決算総額 59,400 円 (内訳) 消耗品費 59,400 円

※環境適応感尺度「アセス」：児童生徒の学級での適応状態や満足度を測る心理検査

事業名	いじめ問題対策委員会開催事業		
概要	むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。		
計画	いじめ問題対策委員委嘱状交付及びいじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)	実績	開催日：8月6日 ・委員10名（医師1名、心理・福祉関係3名、教育関係2名、健全育成関係4名）へ委嘱状を交付した。 ・昨年度のいじめ防止に関する取組の報告と今年度の取組の予定を確認した。
予算	予算総額 113,000 円 (内訳) 報酬 52,000 円 旅費 31,000 円 負担金 30,000 円	決算	決算総額 110,588 円 (内訳) 報酬 52,000 円 旅費 28,588 円 負担金 30,000 円

【成果】

- ・平成27年度は、「Q-U」から「アセス」への移行期間と位置づけ、各校の実情に合わせて、データ処理、結果の分析や活用の仕方を研修する1年となった。（平成27年度児童生徒指導状況報告書より、30日以上欠席者は小学校10名、中学校43名）
- ・「むつ市いじめ問題対策委員会」を開催し、むつ市における取組の現状についての評価と改善など、いじめの防止等のための対策等について協議し助言等をいただいた。

【課題】

- ・平成28年度は「アセス」の結果を分析し、学年・学級経営や生徒指導上の問題解明を図る。平成28年度末には、学年・学級経営や生徒指導上の課題や対応策についてまとめた「生徒指導検査実施報告書」を各校に配付し、生徒指導の充実を図る必要がある。
- ・各校のいじめ防止基本方針が策定されて2年が経過する。年度当初に、「全教育活動を通し、計画的な未然防止が準備されているか」、「速やかに情報が共有され、対応できる体制ができあがっているか」の2点を確認するよう周知徹底する必要がある。

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置事業		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	26人を配置し、1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用する。	実績	・26人を配置し、1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用した。 ・小学校：9校 21人 ・中学校：3校 5人 の配置
予算	予算総額 29,147,000 円 (内訳) 報酬 27,113,000 円 旅費 2,034,000 円	決算	決算総額 29,768,490 円 (内訳) 報酬 27,113,000 円 旅費 2,655,490 円

事業名		就学指導説明会開催事業			
概要	市における就学相談及び就学指導の状況について理解を図り、未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所・保育園・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもってより充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。				
計画	市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所・保育園・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績	就学指導説明会・就学相談研修会を実施し、市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター等23人、保育所・幼稚園の就学相談担当者21人、及び他町村（佐井村、東通村、風間浦村）の就学指導担当者3人が参加した。就学指導の手続きの説明、就学相談における問題点についてのグループ協議や情報交換を行った。		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

事業名		特別支援教育推進委員会開催事業			
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで、能力や特性に応じたきめ細かな指導が行えるようにするための指導・助言や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。				
計画	年4回開催する。また、学校や保護者の要望により、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績	定期開催の特別支援教育推進委員会を4回開催するとともに、臨時の特別支援教育推進委員会を19回開催した。委員会の総合判断に基づき、計73人の就学指導を行った。		
予算	予算総額	885,000 円	決算	決算総額	589,135 円
	(内訳) 報酬	190,000 円		(内訳) 報酬	128,500 円
	旅費	579,000 円		旅費	374,893 円
	消耗品費	41,000 円		消耗品費	34,992 円
	手数料	75,000 円		手数料	50,750 円

【成果】

- ・スクールサポーターの配置により、特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援が可能となり、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動が行われている。
- ・全小・中学校で特別支援教育コーディネーターが指名され、校内委員会が設置されている。
- ・特別支援教育推進委員会の総合判断をもとに、適切な就学が進められている。
- ・健康推進課やむつ養護学校教育相談部等との連携が図られ、早期の就学相談が進められている。
- ・学区毎に保育所・保育園・幼稚園と小・中学校の情報交換を行うことができ、連携の一助となった。

【課題】

- ・特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は、個々の状況に応じたより適切な支援が必要であり、各学校からのスクールサポーター配置要望数も多い。そのため、配置を継続することが必要である。また、性別を問わず、人材の確保と、資質向上のための研修等が必要である。
- ・適切な就学相談や教育的支援が行えるような校内体制の充実を図るため、各学校における特別支援教育コーディネーターの専門性を高めるとともに、校内委員会を有効に機能させることが不可欠である。また、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用をさらに充実させる必要がある。
- ・適切な就学を目指し、早期からの就学相談や各機関との連携の充実を図るとともに、幼保・小・中の連携強化をさらに推進していく必要がある。

(6) 教育相談活動の充実

事業名	むつ市教育相談室開設事業		
概要	いじめや不登校等悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する、一般教育相談・就学相談並びに適応指導等を行うことによって、児童生徒の健全な成長を援助する。		
計画	むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設して、教育相談員を配置し、児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 <ul style="list-style-type: none"> 来室 27件 電話 16件 家庭訪問 0件 ・情報交換 <ul style="list-style-type: none"> 来室 37件 電話 274件 訪問 17件
予算	予算総額 2,841,000 円 (内訳) 報酬 2,487,000 円 報償費 84,000 円 旅費 200,000 円 消耗品費 70,000 円	決算	決算総額 2,896,201 円 (内訳) 報酬 2,486,400 円 報償費 84,000 円 旅費 257,743 円 消耗品費 68,058 円

事業名	教育相談支援員配置事業		
概要	不登校などの教育上の諸問題を抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の支援にあたりつつ、通室生の実情を細かく把握し適切な援助を行う。		
計画	教育相談支援員5人を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・5人の教育相談支援員のうち、1小学校に1名、1中学校に1名を派遣した。 ・適応指導教室通室生に対する支援 18名 延べ4,069時間
予算	予算総額 5,223,000 円 (内訳) 報酬 4,752,000 円 旅費 436,000 円 保険料 35,000 円	決算	決算総額 4,774,770 円 (内訳) 報酬 4,567,200 円 旅費 207,570 円 保険料 0 円

事業名		適応指導教室開設事業	
概要	不登校または不登校傾向にある児童生徒に対し、学校不適応に対する指導と児童生徒一人一人が自分の生き方を自分の力で切り拓いていくための「自立への支援」を主たるねらいとして、むつ市教育相談室において、教育相談、体験活動、学習支援、集団活動への適応指導等を行い、学校復帰を目指す。		
計画	問題を抱える子ども等の自立支援相談員1人を配置し、不登校等の問題を抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市内及び他村の小中学生を通室生として受け入れ適応指導を行った。 通室生：18名 時間数：延べ4,069時間 ・実施した行事等 始業式、終業式、ビーズ教室、英語教室、卓球大会、調理実習、地層見学
予算	予算総額 1,031,000 円 (内訳) 報酬 951,000 円 旅費 54,000 円 消耗品費 9,000 円 賄材料費 10,000 円 保険料 7,000 円	決算	決算総額 1,009,521 円 (内訳) 報酬 950,400 円 旅費 56,240 円 消耗品費 0 円 賄材料費 2,881 円 保険料 0 円

【成果】

- ・むつ市教育相談室開設事業については、教育相談に訪れた児童生徒の通学している学校と情報交換を密に行うことで、児童生徒が抱える悩みや諸問題の解決に向けて支援することができた。また、郡内の4町村において「サテライト相談室」を開設し、不登校傾向の児童生徒の保護者等と面談するとともに、在籍校とも情報交換等を行い、連携することができた。
- ・教育相談支援員配置事業については、適応指導教室に通室していた生徒が登校する際に学校に派遣された教育相談支援員が校内での活動の支援にあたることができた。また、適応指導教室については、自立支援相談員とともに学校復帰を目標としながら、通室生の状況に応じた短期目標を設定し、達成に向けた支援をすることができた。
- ・適応指導教室開設事業については、通室生一人一人の実態に応じた支援を行うことができた。また、年度の後半は小集団による活動が可能になり、集団活動を通じた適応指導にも取り組むことができた。学校復帰を目標としつつ、その都度、通室生の状況に応じた短期目標を設定し、達成に向けた支援をするなど、18名のうち2名が学校復帰を果たした。

※サテライト相談室：郡部の児童生徒のための臨時の相談室

【課題】

- ・むつ市教育相談室開設事業については、現在は教育相談員が教育相談の業務と適応指導教室の運営業務とを兼務する形になっている。今後、保護者面談等の一層の充実を図るために、教育相談室と適応指導教室の運営体制を見直す必要がある。
- ・教育相談支援員配置事業については、自立支援相談員と業務を統合し、全てのスタッフが適応指導や学校派遣、家庭訪問等の支援にあたることができるようにする必要がある。
- ・適応指導教室開設事業については、通室生の中には発達障害の疑いのある児童生徒もおり、その子供の特性を的確に理解するためのより明確なアセスメント（実態把握）と支援が必要である。なお、学校復帰に向けた短期目標の設定にあたっては、保護者にも同一歩調で支援にあたっていただく必要がある。そのため、これまで以上に保護者との面談回数を増やしていかなければならない。

(7) 国際化に対応する教育の推進

事業名		外国語指導助手（ALT）配置事業	
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、または、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。		
計画	ALT 4人のうち、小学校2人、中学校2人（2学期以降はALT 3人、小学校2人、中学校1人）を配置し、外国語活動、英語科の授業において活用を図る。	実績	ALT 4人（2学期以降3人）を配置し、小学校では5、6年外国語活動において、年間1学級当たり約25時間、中学校では約15時間活用した。
予算	予算総額 14,732,000 円 (内訳) 報酬 13,140,000 円 旅費 1,174,000 円 保険料 130,000 円 負担金 288,000 円	決算	決算総額 13,987,469 円 (内訳) 報酬 12,890,805 円 旅費 805,124 円 保険料 75,540 円 負担金 216,000 円

事業名		ジュニア大使派遣事業	
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルズ市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市盟約締結20周年を記念し、中学生15人を7日間の行程で派遣する。 ・事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1月6日～12日の日程で中学生15人を7日間の行程で派遣した。 ・「将来のまちづくり共同宣言」を採択した。 ・事前・事後研修会の開催及び報告書の作成を行った。
予算	予算総額 7,822,000 円 (内訳) 報償費 88,000 円 旅費 996,000 円 消耗品費 20,000 円 印刷製本費 80,000 円 食料費 120,000 円 電話料 12,000 円 郵便配達料 53,000 円 委託料 6,443,000 円 使用料 10,000 円	決算	決算総額 5,765,727 円 (内訳) 報償費 64,067 円 旅費 2,032,621 円 消耗品費 26,873 円 印刷製本費 57,564 円 食料費 119,961 円 電話料 0 円 郵便配達料 0 円 委託料 3,449,141 円 使用料 15,500 円

事業名		中華民国陽明國民中学との友好交流事業	
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問等を通して交流を図る。		
計画	中華民国陽明國民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等を通して交流する。	実績	大平中学校において生徒会主催の歓迎会や授業参加等を通して交流を図った。
予算	予算総額 430,000 円 (内訳) 報償費 85,000 円 旅費 20,000 円 消耗品費 20,000 円 食料費 280,000 円 保険料 25,000 円	決算	決算総額 264,765 円 (内訳) 報償費 69,725 円 旅費 0 円 消耗品費 5,000 円 食料費 190,040 円 保険料 0 円

【成果】

A L Tを活用した授業や国際交流事業を通じて、英語に特定した語学力だけでなく、日本文化の良さを確認することができた。併せて、広い視野から互いの国の文化等を認め合うことなど、児童生徒の理解を深めることができた。

ジュニア大使派遣事業を通して、派遣生徒の国際理解・交流が十分に図られた。

【課題】

- ・ジュニア大使派遣事業においては、「将来のまちづくり共同宣言」の採択を受け、次年度以降、まちづくりへの意識を高めるための取り組みを行っていく必要がある。
- ・中華民国陽明國民中学との友好交流事業においては、生徒同士の交流をより深められるような企画を考えなければならない。



ジュニア大使派遣事業



中華民国陽明國民中学との友好交流事業

(8) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設事業		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を磨くために授業改善等に係る研修講座を開催する。		
計画	弘前大学教育学部との提携による授業づくり講座など16講座を開催する。	実績	17講座を開催し、延べ680人が受講した。
予算	予算総額 369,000 円 (内訳) 報償費 225,000 円 旅費 94,000 円 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 317,216 円 (内訳) 報償費 169,000 円 旅費 95,212 円 消耗品費 53,004 円

【成果】

- ・授業づくり講座は、児童生徒の学力向上に直結する内容であり、受講者からは概ね高い評価を受けることができた。
- ・「必修講座」「希望講座」の種類認知や、各校からの受講申し込み方法も定着してきた。
- ・講座に関連した教員の自主的な勉強会が継続され、中堅教員や臨時講師等の研修意欲の向上も見られた。



教職員研修講座開設事業

【課題】

- ・各校の教職員のニーズに応じた講座内容を工夫し、さらに充実させていくよう努めていかなければならない。
- ・講座受講を機会に、教育研修センターで授業づくりについて教職員同士で情報交換・意見交換ができるような場を設定する必要がある。
- ・講座内容や関連資料などについて、教育系イントラネットを活用して受講者以外にも積極的に情報発信を行っていく必要がある。

(9) 弘前大学教育学部との連携強化

事業名	教育研修センター講座等連携事業		
概要	弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の5つの「授業づくり講座」を実施し、下北・むつ市内の各小・中学校から1名以上必修で参加する中で、思考力・判断力・表現力の育成という活用型の授業の充実を図る。		
計画	平成26年度同様に5教科の授業づくり講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。 ただし、小規模校からの参加については配慮する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：50人 ・算数・数学：44人 ・社会：34人 ・理科：39人 ・外国語活動・英語：38人
予算	予算総額 369,000 円 (内訳) 報 償 費 225,000 円 旅 費 94,000 円 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 317,216 円 (内訳) 報 償 費 169,000 円 旅 費 95,212 円 消耗品費 53,004 円

事業名	弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」		
概要	弘前大学との連携を進め、教職員の資質向上を図るとともに、地域が抱える教育課題の解決を図る。ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことを通して、科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	第一田名部小学校を対象として、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・液体窒素を使った冷凍実験、電子顕微鏡を使った観察実験を実施した。 ・第一田名部小学校5年生75人を対象として実験教室を実施した。
予算	予算総額 50,000 円 (内訳) 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 47,500 円 (内訳) 消耗品費 47,500 円

※ラボ・バス：弘前大学が制作したバスで、「走る実験室」とも呼ばれ、電子顕微鏡等の科学機器を搭載し、県内各地で実験教室を開催している。

【成果】

- ・教育研修センター講座等連携事業については、むつ市教育プランにおける学力向上アクションプランの実現に向けて、活用型の授業づくりの研修を進めてきた。その結果、校内研修の一環として全員で参加する学校や、習得だけでなく活用を図る研修に取り組む学校など、各校でも授業改善が進められ、学習状況調査では、中学校の数学、英語、理科、社会でアクションプランが達成された。
- ・弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」では、電子顕微鏡など普段経験できない実験を実施してもらうとともに、大学生との交流などキャリア教育の面でもよい影響がもたらされた。

【課題】

- ・教育研修センター講座等連携事業については、講座内容についての教職員のニーズを把握した上で、講義内容について関係講師と十分に打ち合わせをして、講座をより一層充実させていく必要がある。
- ・講座内容や関連資料など、受講者以外にも情報提供するために、教育系イントラネットを活用した体制を整備する必要がある。
- ・弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」は、より多くの児童に対し学習機会を提供できるよう検討する必要がある。



ラボ・バス実験教室のようす

(10) 文化・交流事業の充実

事業名	むつ市子ども夢育成基金事業		
概要	むつ市の小中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子どもたちを育成するための安定的財源確保を目的に基金を設立する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣に補助する。 ・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣に補助する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣補助 636,900円 ・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣補助 3,334,200円 ・寄附金 7件 918,439円 ・利子収入 1,050円 ・平成27年度末基金残高 9,549,711円 ※平成26年度末基金残高 8,601,322円
予算	予算総額 8,002,000 円 (内訳) 補助金 4,000,000 円 積立金 4,002,000 円	決算	決算総額 8,890,589 円 (内訳) 補助金 3,971,100 円 積立金 4,919,489 円

事業名	むつ市こども議会開催事業																														
概要	むつ市の小学生が、議会体験をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める一助とする。																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月市議会の傍聴体験を開催する。 ・ 11月こども議会を開催する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校担当者会議：7月6日 ・ 市議会傍聴体験：9月7日、8日 ・ こども議会開催：11月6日 こども議員 12校 18名 																												
予算	<table> <tr> <td>予算総額</td> <td>475,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 旅 費</td> <td>111,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>140,000 円</td> </tr> <tr> <td>食料費</td> <td>14,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>100,000 円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>80,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	475,000 円	(内訳) 旅 費	111,000 円	消耗品費	30,000 円	印刷製本費	140,000 円	食料費	14,000 円	委託料	100,000 円	自動車借上料	80,000 円	決算	<table> <tr> <td>決算総額</td> <td>321,449 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 旅 費</td> <td>108,003 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>29,886 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>131,360 円</td> </tr> <tr> <td>食料費</td> <td>11,700 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>40,500 円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	321,449 円	(内訳) 旅 費	108,003 円	消耗品費	29,886 円	印刷製本費	131,360 円	食料費	11,700 円	委託料	40,500 円	自動車借上料	0 円
予算総額	475,000 円																														
(内訳) 旅 費	111,000 円																														
消耗品費	30,000 円																														
印刷製本費	140,000 円																														
食料費	14,000 円																														
委託料	100,000 円																														
自動車借上料	80,000 円																														
決算総額	321,449 円																														
(内訳) 旅 費	108,003 円																														
消耗品費	29,886 円																														
印刷製本費	131,360 円																														
食料費	11,700 円																														
委託料	40,500 円																														
自動車借上料	0 円																														



むつ市こども議会開催事業



むつ市こども議会の様子

【成果】

- ・ むつ市子ども夢育成基金事業については、申請団体や問い合わせが多くなり、PRの効果が現れている。
- ・ むつ市こども議会開催事業については、議員の選出や各校での報告会等により、市政と市議会に対する小学生の関心が高まってきている。

【課題】

- ・ むつ市子ども夢育成基金事業については、申請数の増加に伴い補助金の額も多くなっているため、基金の取り崩しが多く、寄附に関して募集の仕方を検討する必要がある。
- ・ むつ市こども議会開催事業については、模擬議会を開催する教育的価値が大きいことから、今後も関係者の協力を頂きながら実施していく必要がある。

4 公民館活動の推進 (担当課：中央・川内・大畑・脇野沢公民館)

【重点項目】

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの充実

■ 重点項目の点検 (平成27年度の具体的な取り組み状況) ■

(1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名		公民館運営審議会	
概要	公民館運営審議会委員は、教育委員会が委嘱し、館長の諮問に応じて公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するもので、委員の定数は15人以内で任期は2年である。		
計画	公民館の事業の計画・実施等につき審議する。 ・定数：15名 ・任期：H27.9.1～H29.8.31	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第173回むつ市公民館運営審議会の開催 開催日：4月15日 開催場所：中央公民館 講堂 出席者：運営審議会委員 11人 事務局 10人 ・第174回むつ市公民館運営審議会の開催 開催日：10月23日 開催場所：中央公民館 講堂 出席者：運営審議会委員 12人 事務局 9人
予算	予算総額 370,000 円 (内訳) 報酬 228,000 円 費用弁償 134,000 円 消耗品費 8,000 円	決算	決算総額 219,894 円 (内訳) 報酬 143,000 円 費用弁償 76,894 円 消耗品費 0 円

事業名		中央館・地区館の管理体制の確立	
概要	地区公民館長の会議において、適正な地区公民館の運営についての協議を行う。また、年間の事業計画及び報告等も行う。		
計画	川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明及び適正な地区公民館運営についての説明を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・川内地区公民館長会議 開催場所：川内公民館 開催日：11月27日 出席者：地区公民館長 9人 事務局 2人 ・大畑地区公民館長会議 開催日：5月19日 開催場所：大畑公民館 出席者：地区公民館長 6人 事務局 3人
予算	予算総額 970,000 円 (内訳) 報酬 840,000 円 旅費 130,000 円	決算	決算総額 899,696 円 (内訳) 報酬 840,000 円 旅費 59,696 円

事業名		公民館施設・設備の整備	
概要	生涯学習の拠点施設である公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）の適正な管理運営を行うとともに、市民が利用しやすい環境を提供する。		
計画	年間を通じて、市民が利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実績	生涯学習の拠点として、多種多様な講座を開催するとともに、それが動機となって自主的な学習グループが育っており、活動拠点として積極的な利用がなされている。
画面		実績	各公民館の利用状況（全館合計） 中央： 1,598回（H26： 1,664回） 38,094人（H26： 34,439人） 川内： 211回（H26： 225回） 5,178人（H26： 4,001人） 大畑： 823回（H26： 776回） 12,348人（H26： 10,317人） 脇野沢： 437回（H26： 415回） 6,851人（H26： 4,927人）
予算	予算総額 49,361,504 円 (内訳) 報酬 3,000,000 円 賃金 3,226,000 円 報償費 25,000 円 旅費 176,800 円 需用費(燃料費、電気料等) 13,287,945 円 役務費(通信運搬費等) 1,259,600 円 委託料 25,996,390 円 使用料 991,399 円 工事請負費 725,760 円 原材料 36,000 円 備品購入費 472,210 円 公課費 164,400 円	決算	決算総額 46,111,136 円 (内訳) 報酬 3,000,000 円 賃金 3,041,234 円 報償費 25,000 円 旅費 176,800 円 需用費(燃料費、電気料等) 11,401,344 円 役務費(通信運搬費等) 1,179,945 円 委託料 24,982,235 円 使用料 920,679 円 工事請負費 725,760 円 原材料 21,729 円 備品購入費 472,210 円 公課費 164,200 円

事業名		地区館の管理運営体制の確立	
概要	むつ市公民館条例第2条及び第3条で設置する公民館の地区館の管理運営を行う。		
計画	年間を通じて、市民が利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実績	各施設とも老朽化が進んでいるものの、地域住民による自主的管理が行われており、唯一の地域コミュニティの場として活用されている。 ・川内地区：14地区公民館 ・大畑地区：7地区公民館
予算	予算総額 5,307,964 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 需用費(電気料、燃料費、修繕費等) 2,140,764 円 役務費(汲取手数料等) 434,000 円 委託料 220,000 円 工事請負費 2,473,200 円 原材料費 40,000 円	決算	決算総額 4,890,005 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 需用費(電気料、燃料費、修繕費等) 1,916,495 円 役務費(汲取手数料等) 320,490 円 委託料 149,040 円 工事請負費 2,473,200 円 原材料費 30,780 円

【成果】

公民館運営審議会では、毎年、公民館運営及び各種事業について審議し、地域の声を聞き、活発な提言をおこなっている。これを踏まえ、公民館運営及び各種事業に反映させ、更なる公民館活動の振興に努めた。

【課題】

生涯学習の拠点である公民館だが、川内・大畑公民館の老朽化が進み、維持管理及び施設の修理などの対応が必要となってきた。市民が安心して利用しやすい環境を整えるためにも早急に検討する必要がある。

また、地区公民館（川内・大畑地区）は、地域住民による自主的管理のもと、地域のコミュニティの場として活用されているが、老朽化により破損の著しい部分も多く、早急な対応が必要となってきた。

(2) 公民館事業の推進

事業名		市民大学事業																			
概要	市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応するとともに、豊かで活気のある生活の確立を目指す。																				
計画	<ul style="list-style-type: none"> 人と人が連携できる地域の学びの場として、「いつでも・だれでも参加できる」多彩な講座を計画する。 講義を中心とした「公開講座」と、実習を中心とした「ゼミナール」を開催する。 受講登録し、公開講座2単位を含む10単位を取得した受講生へ修了証を授与する。 	実	①公開講座：10回（H26：10回） 聴講者数：延べ602人（H26：552人） 登録者数：87人（H26：77人） 修了者数：64人（H26：44人） ②ゼミナール：27ゼミ（H26：27ゼミ） 登録者数：390人（H26：372人）																		
画面	①公開講座：10回 ②ゼミナール：27ゼミ むつ地区：14ゼミ 川内地区：2ゼミ 大畑地区：5ゼミ 脇野沢地区：6ゼミ	績	内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>むつ</td> <td>14 ゼミ 194 人</td> <td>14 ゼミ 190 人</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>2 ゼミ 16 人</td> <td>2 ゼミ 15 人</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>5 ゼミ 101 人</td> <td>6 ゼミ 88 人</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>6 ゼミ 79 人</td> <td>5 ゼミ 79 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27 ゼミ 390 人</td> <td>27 ゼミ 372 人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H26	むつ	14 ゼミ 194 人	14 ゼミ 190 人	川内	2 ゼミ 16 人	2 ゼミ 15 人	大畑	5 ゼミ 101 人	6 ゼミ 88 人	脇野沢	6 ゼミ 79 人	5 ゼミ 79 人	計	27 ゼミ 390 人	27 ゼミ 372 人
	H27	H26																			
むつ	14 ゼミ 194 人	14 ゼミ 190 人																			
川内	2 ゼミ 16 人	2 ゼミ 15 人																			
大畑	5 ゼミ 101 人	6 ゼミ 88 人																			
脇野沢	6 ゼミ 79 人	5 ゼミ 79 人																			
計	27 ゼミ 390 人	27 ゼミ 372 人																			
予算	予算総額 1,204,519 円 (内訳) 報償費 659,000 円 旅費 413,080 円 消耗品 36,000 円 自動車借上料 96,439 円	決	決算総額 1,166,544 円 (内訳) 報償費 655,000 円 旅費 386,250 円 消耗品 30,686 円 自動車借上料 94,608 円																		

事業名		婦人学級	
概要	現代社会における家庭・家族の意味を考え、より豊かな人間性を育むための知識・技術を習得し、女性としての生き方を考える。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で地域にあった年間事業計画を立て、それに沿って活動する。 他地区の婦人学級等との合同学習や女性団体の行事に参加し交流を深める。 	実	むつ地区6学級 (H26: 6学級) ・学級長会議及び合同学習 4月17日 平成27年度の事業計画について 参加者 5人 6月1日 第1回合同学習会「ジオパーク研修会」講演 参加者 28人 7月9日 第2回合同学習会「ジオパーク研修会」ジオサイト見学 参加者 28人 9月10日 学級長研修会「むつ消防署見学・心肺蘇生法研修」 参加者 21人 2月16日 学級運営について情報交換 参加者 6人 3月17日 第3回学級長研修会「電力小売全面自由化について」 参加者 51人 ・郷土料理教室 10月14日 ほっかりん米の炊き込みご飯、ブロッコリーと大根のたらこ和え他 参加者 33人 10月16日 山菜寿司、しながわ汁他 参加者 36人 10月27日 山菜寿司、しながわ汁他 参加者 20人 11月4日 ほっかりんでおにぎらず、サケの粕汁他 参加者 28人 ・むつ市女性団体連絡協議会の行事への参加 1月27日 市長と語る会 参加者 89人 3月13日 女性のつどい 参加者 145人
		績	
予算	予算総額 244,000 円 (内訳) 報償費 84,000 円 旅費 45,000 円 消耗品費 13,000 円 使用料 102,000 円	決算	決算総額 103,898 円 (内訳) 報償費 65,000 円 旅費 30,117 円 消耗品費 7,981 円 使用料 800 円

事業名	新田ふれあい学級		
概要	過疎地域における地域課題、生活課題への意識を高め、生活実践の学習活動をする。健康問題等への家庭教育を中心に学習する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> 開催地区：むつ市関根地区（新田町内会） 開催期間：平成27年4月から平成28年3月まで 開催回数：9回 開催場所：中央公民館新田分館 	実績	4月8日 開級式 参加者 8人 5月13日 視察研修(みどりのさきもり館・安渡館・海望館) 参加者 8人 6月10日 健康教室 参加者 8人 8月26日 料理教室 参加者 10人 9月9日 施設見学(田舎館田んぼアート) 参加者 15人 10月14日 健康教室 参加者 6人 11月11日 そば打ち教室 参加者 10人 12月9日 健康教室 参加者 9人 3月9日 閉級式 参加者 9人
			決算
予算	予算総額 133,862 円 (内訳) 報償費 19,500 円 旅費 14,000 円 消耗品費 3,000 円 自動車借上料 97,362 円	決算	決算総額 123,790 円 (内訳) 報償費 17,000 円 旅費 9,428 円 消耗品費 0 円 自動車借上料 97,362 円



市民大学 着付けゼミナール



新田ふれあい学級の様子

事業名	子ども向け各種講座		
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを図り、児童の健全育成を推進する。		
計画	①子ども講座 夏休みや冬休み期間に小学生を対象に実施する。 ②子どもお楽しみ会 幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施する。	実績	①子ども講座 ・科学教室 開催日：11月15日 参加者 23人 ・パソコン教室 開催日：11月25日 参加者 6人 ・お菓子作り教室 開催日：12月19日 参加者 20人 ②子どもお楽しみ会 ・夏のお楽しみ会 開催日：7月12日 参加者 30人 ・冬のお楽しみ会 開催日：12月13日 参加者 39人
			決算
予算	予算総額 121,631 円 (内訳) 報償費 87,500 円 旅費 23,131 円 消耗品費 11,000 円	決算	決算総額 120,652 円 (内訳) 報償費 87,500 円 旅費 23,131 円 消耗品費 10,021 円

事業名		むつ市少年教育指導委員会議・ジュニアリーダー研修会	
概要		むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員を配置し、青少年の健全な成長を図るため、少年教育に関する諮問に応じる。また、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行い、子ども会などで活かすことができるジュニアリーダーとしての研修を実施する。	
計画		少年教育指導委員会を開催し、ジュニアリーダー研修会のプログラムの立案及び研修での技術指導及び助言を行う。 ・配置人数：12名（定数20名以内） ・任期：H27.7.1～H29.6.30 ・少年教育指導委員会会議：年1回 ・ジュニアリーダー研修会 7月4日～5日 1泊2日 下北自然の家	
実績		・少年教育指導委員会の開催 開催日：7月1日 開催場所：中央公民館 出席者：指導委員 9名 案件：研修会の開催要項及びプログラムについて ・ジュニアリーダー研修会 開催日：7月4日～5日 場所：下北自然の家 参加者：47人	
予算		予算総額 413,190 円 (内訳) 報酬 162,500 円 旅費 99,290 円 消耗品費 19,200 円 食糧費 103,800 円 医薬材料費 5,000 円 洗濯料 10,400 円 使用料 13,000 円	
決算		決算総額 406,758 円 (内訳) 報酬 162,500 円 旅費 99,290 円 消耗品費 16,662 円 食糧費 103,800 円 医薬材料費 1,106 円 洗濯料 10,400 円 使用料 13,000 円	

事業名		子ども防災キャンプ	
概要		小学生（4～6年生）を対象に災害時の避難所での生活や防災について学び、非常食体験やロープワーク等をグループで実施することで災害に備える気持ちを養う。	
計画		中央公民館で災害時の避難所生活を体験し、防災について学ぶ。	
実績		子ども防災キャンプの開催 開催日：9月5日～6日 場所：中央公民館 参加者：10人	
予算		予算総額 53,000 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 消耗品費 53,000 円	
決算		決算総額 13,883 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 消耗品費 13,883 円	



ジュニアリーダー研修会の様子



子ども防災キャンプの様子

事業名	家庭教育事業開催		
概要	家庭と地域の絆を深め、子育てに関する情報提供や親同士の交流を図る機会、学習機会を提供する。また、子どもたちの思いやりの心を育てるため、豊かな恵まれた自然の中での体験活動、地域における生活体験や豊富な社会体験、異年齢集団での多彩な交流活動の場を提供するなど、子どもたちの学習機会の充実に努める。		
計画	青少年の「生きる力」を育むために各種体験学習を実施する。 ・自然体験活動の開催 ・社会体験活動の開催	実績	・自然体験活動 (日程の調整がつかず未実施) ・社会体験活動 (日程調整ができず未実施)
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	分館活動の充実		
概要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、市民全体の活気あふれる地域社会づくりを推進する。		
計画	①中央公民館分館長会議を年度当初に開催する。 ②分館地域づくり講座を開催する。 (対象：16分館)	実績	①中央公民館分館長会議 開催日：4月16日 開催場所：中央公民館 案件： ・平成26年度公民館事業報告 ・平成27年度公民館事業計画 ・分館地域づくり講座の説明 ②分館地域づくり講座 開催日：12月6日 開催場所：中央公民館宇曾利川分館 講座内容：としなづくり 参加者：8人
予算	予算総額 148,000 円 (内訳) 報 酬 91,000 円 旅 費 57,000 円	決算	決算総額 140,313 円 (内訳) 報 酬 91,000 円 旅 費 49,313 円

【成果】

- ・市民大学については、各公開講座、各ゼミナールともアンケート結果及び市民の声を市民大学運営委員が反映させ、的確に次年度の企画立案に生かされたため、市民が求めている生涯学習を実施することができ好評を得た。
- ・婦人学級については、新規に入会する学級生が少なくなり高齢化しているが、学習意欲が旺盛で自主的に学習計画を立てて運営しており、他の学級及び団体との学習も行われ積極的に交流が図られた。
- ・子ども向け各種講座については、各講座を通して小学生に公民館を身近に親しんでもらうことができた。また、お楽しみ会では親子で参加して楽しい一日を過ごし、親同士の交流も図られた。
- ・青少年事業については、防災教育の一環で子ども防災キャンプを実施し、災害時の避難所での生活や防災について学んだ。また、ジュニアリーダー研修会に関しては、少年教育指導委員会に諮りながら実施した結果、ここ数年参加者も多く有意義な研修会が実施された。
- ・家庭教育事業については、日程等の調整が合わず開催ができなかった。

【課題】

市民大学のゼミナールなどでは、個々で学ぶだけでなく、講座に参加した人が家庭で子や孫達と一緒に楽しめるような内容のものを企画したり、開催日を土曜・日曜日等にし、親子や祖父母も一緒に参加できるような講座を開催することで、家族間の結びつきを近づけることができると考える。

(3) 社会教育団体等の育成支援

事業名		社会教育団体の自主性・自立性の確立	
概要	社会教育の特定分野について、直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う。 (特定分野とは青少年教育・婦人教育を指す。)		
計画	計	<p>中央公民館に配置されている社会教育指導員については、婦人教育に関する直接指導、学習相談及び社会教育団体の育成を行い、青少年教育に関しては、公民館職員が随時、指導及び学習相談等を行う。</p>	<p>①むつ地区連合婦人会 第40回むつ市婦人体育まつり 開催日：7月26日 場所：第二田名部小学校 参加団体：13団体、2施設</p> <p>②むつ市連合婦人会 第37回むつ市婦人芸能発表会 開催日：2月28日 場所：下北文化会館 出演：16団体、4施設</p> <p>③下北連合婦人会事務局 ・平成27年度総会及び研修会 開催日：5月13日 場所：中央公民館 参加者：71人 ・幹部研修会 開催日：9月18日 場所：風間浦村 (風間浦村総合福祉センター「げんきかん」) 参加者：96人</p> <p>④下北地区子ども会育成連合会事務局 ・第31回下北地区子ども会郷土芸能発表会 開催日：2月7日 場所：下北文化会館 参加団体：7団体、52人 ・青森県子連ブロック研修会・指導者育成研究大会(下北地区) 開催日：10月18日 場所：中央公民館 参加者：19人</p>
	画	実績	
予算	<p>予算総額 1,213,000 円</p> <p>(内訳) 負担金 594,000 円 補助金 619,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,184,570 円</p> <p>(内訳) 負担金 566,000 円 補助金 618,570 円</p>

事業名		公民館まつり										
概要	各地区の公民館の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動について実演を交えて紹介する等、成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動のさらなる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。											
計画	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び体験・実技指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。 開催場所：各公民館 	実	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館 開催日：8月29日～30日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>29団体</td> <td>35団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,348人</td> <td>1,038人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H26	参加団体	29団体	35団体	来場者数	1,348人	1,038人
				H27	H26							
参加団体	29団体	35団体										
来場者数	1,348人	1,038人										
実績		績	<ul style="list-style-type: none"> 川内公民館 開催日：10月26日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>4団体</td> <td>10団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>302人</td> <td>662人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H26	参加団体	4団体	10団体	来場者数	302人	662人
				H27	H26							
参加団体	4団体	10団体										
来場者数	302人	662人										
予算	予算総額 413,331 円 (内訳) 報償費 200,000 円 消耗品費 138,331 円 食糧費 5,000 円 洗濯料 70,000 円	決算	<ul style="list-style-type: none"> 大畑公民館 開催日：10月31日～11月1日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>19団体</td> <td>25団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>550人</td> <td>656人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H26	参加団体	19団体	25団体	来場者数	550人	656人
				H27	H26							
参加団体	19団体	25団体										
来場者数	550人	656人										
			<ul style="list-style-type: none"> 脇野沢公民館 開催日：11月1日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>8団体</td> <td>8団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>134人</td> <td>131人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H26	参加団体	8団体	8団体	来場者数	134人	131人
				H27	H26							
参加団体	8団体	8団体										
来場者数	134人	131人										
			決算総額 254,813 円 (内訳) 報償費 172,000 円 消耗品費 36,260 円 食糧費 4,843 円 洗濯料 41,710 円									



公民館まつりの様子



公民館まつり サークル作品展示

事業名	女性の社会参加促進活動等の支援				
概要	女性団体の育成支援と自主運営を指導し、事業協力する。				
計画	むつ市女性団体連絡協議会（主催） ・市長と語る会 むつ市の現状や将来について語り合い、問題点や今後の方向性について市長に直接意見を述べる機会を設ける。 ・女性のつどい 市内の女性団体・グループが一堂に集い、お互いの理解を深めるための交流を持ち、それぞれの立場から女性の地位向上を目指し、より豊かで住み良い街づくりを考える。	実績	むつ市女性団体連絡協議会（主催） ・市長と語る会 開催日：1月27日 開催場所：中央公民館 参加者：19団体、89人 ・女性のつどい 開催日：3月13日 開催場所：中央公民館 参加者：19団体、145人		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

事業名	社会教育指導員配置事業		
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、社会教育特定分野についての直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。（特定分野とは婦人教育を指す。）		
計画	中央公民館に1人配置する。 婦人教育担当：1人	実績	中央公民館に1人配置し、婦人学級や婦人会、女性団体連絡協議会の事業を指導・支援し、婦人教育の振興に効果的な役割を果たした。
予算	予算総額 1,692,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 旅費 136,000 円	決算	決算総額 1,626,240 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 旅費 71,040 円

【成果】

各地区で実施された公民館まつりは、公民館を拠点に活動している地域の団体・サークル等の活動・学習成果の発表の場となっており、そのことにより地域住民との交流が活性化し、生涯学習の推進に貢献している。

社会教育指導員の指導助言を受け、婦人会や女性団体連絡協議会の活動は活発であり、他地域との研修や交流を図りながら学習したことなどを基に、市政への貴重な提言も行っている。

【課題】

婦人団体については、新規に入会する方が少なくなり高齢化しているため、団体の存続ができずに解散するところも出てきている。活動が長く続けていけるよう、会員増強について助言指導を行っていくことが必要である。

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名		下北美術展			
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から、書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の募集作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。				
計画	①児童・生徒の部の開催 (絵画、版画、書道)	実績	①児童・生徒の部 出展数：3,030点 入賞者数：777点 本展：8月8日～23日 場所 中央公民館 移動展：8月29日～9月3日 場所 津軽海峡文化館アルサス		
	②高校・一般の部の開催 (絵画、写真、書道)		②高校・一般の部 出展数：109点 入賞者数：44点 本展：10月2日～12日 場所 中央公民館		
予算	予算総額	517,500 円	決算	決算総額	501,475 円
	(内訳)	報償費 119,000 円 消耗品費 223,500 円 印刷製本費 162,000 円 食糧費 8,000 円 郵便料 5,000 円		(内訳)	報償費 113,000 円 消耗品費 209,462 円 印刷製本費 152,893 円 食糧費 6,240 円 郵便料 19,880 円

事業名		市民大学一日体験入学			
概要	大学での講義・実技講習等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で味わうことにより、学ぶ楽しさの一層の充実を図る。				
計画	青森明の星短期大学一日体験入学	実績	青森明の星短期大学一日体験入学 開催日：9月29日 参加者数：20人		
予算	予算総額	99,360 円	決算	決算総額	94,608 円
	(内訳)	バス借上料 99,360 円		(内訳)	バス借上料 94,608 円

事業名		子どもネブタ合同運行支援	
概要	夏休み期間中、ネブタ製作等に参加することにより、仲間づくりや創作活動を通じて創造力と自主性、協調性を養うとともに、豊かなふるさとの行事を意識させ、郷土愛を育てる。		
計画	田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・事業協力を行う。参加台数の減少及び少子化等に伴い子どもたちのネブタへの参加が少なくなっているなか、ネブタに興味を持ってもらう。	実績	・むつ市子どもネブタ運行委員会総会 開催日：6月6日 ・むつ市子どもネブタ合同運行補助 開催日：8月1日 参加台数：9台 ※むつ市希望のまちづくり補助金 120,000円 運営経費が一部が補助された。 公民館は人的援助をおこなった。
	予算額		0 円

【成果】

下北美術展については、本展(中央公民館)のほか、町村部においても移動展を開催することが定着してきており、下北地域全域に芸術文化の振興に寄与している。

子どもネブタ合同運行については、総会等運営に係る会議に参加し、助言をするとともに、運行にあたり出発式の会場設営や、運行先導車と緊急車両としての先導、公道の交通規制の案内立て看板の設置・撤去等に協力している。



子どもネブタ合同運行

【課題】

子どもネブタ合同運行について、運行の中心となる子どもの数が減少し、それに伴い、地区の子どもたちを支援する大人も少なくなっているため、合同運行への参加台数の減少につながっていると思われる。子どもの健全育成を図るためにも、その一端を担っている子どもネブタ製作、運行に関わる子どもや育成者の養成に取り組んでいかなければならない。

(5) 視聴覚ライブラリーの充実

事業名		視聴覚教具・教材の整備	
概要	学校教育・社会教育に必要なDVD教材・教具の充実を図る。		
計画	学校、保育所(園)、社会教育関連団体が活用できる教材を購入する。	実績	視聴覚教材の購入 DVD(18本) 内容: 幼児向けのアニメ 介護技術などの専門的なもの 健康に関するもの
予算	予算総額 307,000 円 (内訳) 備品購入費 300,000 円 修繕費 7,000 円	決算	決算総額 259,092 円 (内訳) 備品購入費 259,092 円 修繕費 0 円

事業名		連絡調整会議の開催	
概要	多様化する視聴覚教材の整備・選定等について協議する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> 青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会等会議の出席 下北地方視聴覚協議会総会等会議の開催 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会 (5月25日) 下北地方視聴覚教育協議会総会 (6月1日) 下北地方視聴覚教育協議会会議 (12月14日)
予算	予算総額 5,000 円 (内訳) 旅費 5,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 旅費 0 円 ※公用車使用のため旅費の支出なし

事業名	視聴覚教具・教材の利用促進		
概要	視聴覚教材の利用促進を図るため、教材目録を作成し広報活動に努める。		
計画	データブックの追録版を発行し、管内公民館及び学校等に配布する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> データブックの追録版発行：150部（新規DVDや寄付を受けた教材リストを掲載） 管内公民館及び学校等に配付
予算	予算総額 20,000 円 (内訳) 消耗品費 20,000 円	決算	決算総額 3,456 円 (内訳) 消耗品費 3,456 円

【成果】

学校、保育所（園）で活用できるアニメ等の教材を購入するとともに、高齢化社会に伴い高齢者をとりまく状況が厳しくなる中、高齢者や介護者向けの教材も購入した。各公民館や学校等に追録分のデータブックを配布し、利用促進を図っている。

【課題】

デジタル化の影響で今後の視聴覚ライブラリーの必要性について検討する段階にきているものと思われ、国や県の動向について情報を把握し、上部団体の青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会と構成する他の地方視聴覚教育協議会の実情を踏まえ、今後の方向性について協議していく必要がある。



視聴覚ライブラリー教材の貸し出し

5 地域の教育・文化の向上発展（担当課：図書館）

【重点項目】

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 利用者ニーズに即した資料整備
- (4) 子どもの読書活動の推進

■ 重点項目の点検（平成27年度の具体的な取り組み状況） ■

(1) 図書館施設の適正管理

事業名		図書館施設・設備の保守管理業務委託	
概要	建築物の空調・消防施設・電源・セキュリティ・清掃委託、施設周辺の雑草駆除を含む植栽管理等、図書館の機能を活かすために、多岐にわたって業務委託を実施する。		
計画	<p>年間を通じ施設及び設備の適切な管理を業務委託し適正管理を行う</p> <p>◎維持管理 ・環境衛生管理業務委託 他9件</p> <p>◎図書館運営 ・移動図書館車運転・管理業務委託 他6件</p> <p>◎業務委託 15項目</p>	実績	<p>◎維持管理 ・環境衛生管理業務委託においては毎日清掃及びワックスがけ等の特別清掃を行い、施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>◎図書館運営 ・移動図書館車運転・管理業務委託においては年間105日の運行を支障なく行い、車体の維持管理も適切に行われた。</p>
予算	<p>予算総額 17,941,000 円</p> <p>(内訳) 委託料(維持管理) 15,588,000 円</p> <p>委託料(図書館運営) 2,353,000 円</p>	決算	<p>決算総額 17,005,732 円</p> <p>(内訳) 委託料(維持管理) 14,907,028 円</p> <p>委託料(図書館運営) 2,098,704 円</p>



図書館 外観

事業名		図書館施設・設備の改修及び修繕	
概要	施設全体について改善・改修箇所がないか点検し利用者の安全と安心に寄与する。また、業務委託のみに依存するのではなく、図書館職員で可能な箇所の管理業務を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> 地震時に書架から図書の落下を防ぐブックキーパーの設置（部分設置） 図書館周辺に出没するスズメバチ対策の実施 照明器具修理・交換 集会施設テレビ等AV機器交換 高圧気中負荷開閉器交換工事 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ブックキーパーの設置30箇所 「スズメバチ」対策の実施 自動ドア修繕 ブラインド修繕 川島雄三記念室DVDデッキ修繕 書庫屋根の修繕 高圧気中負荷開閉器交換工事 非常用バッテリー更新 集会施設テレビ等AV機器交換
予算	予算総額 2,176,000 円 (内訳) 施設修繕費 140,000 円 電気器具修繕費 90,000 円 電球代・用品代 300,000 円 備品購入費 463,000 円 車両修繕費及び手数料 207,000 円 電気機器交換工事 976,000 円	決算	決算総額 2,255,759 円 (内訳) 施設修繕費 156,913 円 電気器具修繕費 0 円 電球代・用品代 507,283 円 備品購入費 359,453 円 車両修繕費及び手数料 256,870 円 電気機器交換工事 975,240 円

【成果】

開館から16年経過し、施設の修繕が必要な箇所が年々増加しているが、業務委託の保守点検で異常等を速やかに調査確認し、併せて職員の日常の見回り等で損傷等が小さいうちに修繕している。

【課題】

館内で部分的に照明が不十分な箇所があり、照明の増加が必要である。また、駐車場の拡大は最重要課題である。さらに、年ごとに突発的な修繕箇所が増加している。

(2) 図書館サービス活動の充実

事業名		図書館協議会の開催	
概要	図書館協議会は図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービス業務につき、館長に意見を述べる機関である。		
計画	条例による定数：10名以内 年度内3回の開催	実績	図書館協議会委員10名委嘱 任期：H27.5.1～H29.4.30 第1回 7月22日：7名出席 第2回 11月20日：6名出席 第3回 3月22日：8名出席
予算	予算総額 308,940 円 (内訳) 報酬 195,000 円 旅費 113,940 円	決算	決算総額 188,040 円 (内訳) 報酬 110,500 円 旅費 77,540 円

事業名		図書館システムによるサービスの拡充	
概要	インターネットを活用したクラウド方式のSaaS (Software as a Service) 型図書館システムを運用し、図書館運営に活用している。		
計画	利用者の利便性向上のため図書館システム (SaaS型) を導入する。	実績	貸出業務及び検索・予約の素早い対応が可能となった。 利用者数 50,946人 利用冊数 163,906冊 予約件数 2,329件
予算	予算総額 5,701,410 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 648,000 円 図書館システム使用料 2,073,600 円 コンピュータ機器借上料 2,461,410 円 TooLi(図書館資料検索システム)借上料 518,400 円	決算	決算総額 5,688,444 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 635,040 円 図書館システム使用料 2,073,600 円 コンピュータ機器借上料 2,461,404 円 TooLi(図書館資料検索システム)借上料 518,400 円

※SaaS型とは、パッケージソフト (ソフトウェアやサーバー) を購入せずに、インターネット経由で利用するコンピュータの活用法で、サーバー管理やセキュリティ対策などのシステム運用の負担が軽減される。

事業名		図書館奉仕員の配置によるレファレンス活動の充実	
概要	図書館奉仕員は、来館した市民が利用するカウンター業務の大部分を担う図書館運営において継続的雇用が必要不可欠であり、その技術や知識を生かし、市民からのレファレンス (調査相談業務) に対応する。		
計画	レファレンスを担当する相談カウンターに奉仕員を配置し、業務にあたる。研修等に参加しスキルアップを図る。	実績	奉仕員配置人数 12名 レファレンス件数 1,004件 県立図書館職員研修 4回 (のべ11名) 著作権セミナー出席 5名 県図書館連絡協議会研修会出席 4名
予算	予算総額 19,903,158 円 (内訳) 報酬 18,662,400 円 旅費 1,240,758 円	決算	決算総額 19,170,508 円 (内訳) 報酬 18,307,705 円 旅費 862,803 円 ※決算総額の全額19,170,508円は国・県補助額

事業名	本館と分館の連携によるリクエストの拡充		
概要	分館の利用者にも本館と同様のサービスを提供できるようにする。		
計画	分館職員と連携を図り、リクエストに対応し予約や相互貸借を行う。	実績	リクエスト受付数 大畑分館 46件 脇野沢分館 60件
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	移動図書館車の運行業務委託		
概要	図書館本館から遠隔地へ移動図書館車を運行し、図書館資料利用の拡大を図る。		
計画	小学校、保育園、地区公民館や集会所等20ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間105日運行する。	実績	運行期間：5月7日～11月27日 105日運行 ※12月は返却のみの運行 利用人数：2,418人 貸出冊数：7,915冊
予算	予算総額 817,581 円 (内訳) 委託料 817,581 円	決算	決算総額 815,400 円 (内訳) 委託料 815,400 円

※予算総額・決算総額については、事業名「図書館施設・設備の保守管理業務委託」の再掲額です。

事業名	相互貸借ネットワーク事業		
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出し、利用者の求める資料の提供を図る。		
計画	年間を通じ、利用者の求める資料を全国の図書館を調査して貸出できるよう対応する。他の図書館からの借用依頼にも随時応える。 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供をするため、申請及び機器の整備を行う。	実績	相互貸借件数 借受数：479点 県内：413点 県外：66点 貸出数：208点 県内：172点 県外：36点 国会デジタル利用者数：6人
予算	予算総額 140,000 円 (内訳) 相互貸借手数料 140,000 円	決算	決算総額 110,242 円 (内訳) 相互貸借手数料 110,242 円

事業名	障がいをもつ人へのサービス		
概要	視覚、聴覚、肢体等、様々な障がいを持つ人々に対する、読書意欲を喚起するための支援を行う。		
計画	障がいを持つ人の図書館利用について、障がいの状況に応じた援助を実施する。	実績	・大活字本 47冊 ・朗読CD 30点
予算	予算総額 230,000 円 (内訳) 備品購入費 230,000 円	決算	決算総額 244,296 円 (内訳) 備品購入費 244,296 円

事業名	むつ市詩歌コンクール		
概要	むつ市在住の児童・生徒・一般の方々を対象に、詩・短歌・俳句・川柳の4部門において創作に対する関心を高め、読書と創作の接点を設けることを目的に実施する。		
計画	夏期に募集し年度内に表彰式、作品展示、文集作成を実施する。	実績	募集 : 8月1日～9月10日 表彰式 : 11月22日 作品展示 : 11月22日～12月27日 応募作品数 : 2,956点 応募者数 : 1,871名 入賞者 : 290名
予算	予算総額 220,753 円 (内訳) 報償費 172,000 円 賞状用紙、展示用紙 48,753 円	決算	決算総額 205,442 円 (内訳) 報償費 163,500 円 賞状用紙、展示用紙 41,942 円

事業名	川島雄三映画上映会及び記念室の運営		
概要	図書館内に設置している川島雄三記念室を活用し、映画上映会や展示を開催する。		
計画	川島雄三監督映画上映会を開催し、生誕100周年に向けてシンポジウムを開催する。	実績	・川島雄三監督作品映画上映会 6月10日～11日 2作品 参加者 18名 ・川島雄三監督シンポジウム (併せて映画上映1作品) 10月24日 参加者 32名
予算	予算額 0 円	決算	決算総額 55,080 円 (内訳) 映像資料上映許諾使用料 55,080 円



川島雄三監督シンポジウム



詩歌コンクール

事業名	各種事業の開催（実技体験型）		
概要	図書館に親しんでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各種事業を開催する。		
計画	図書館奉仕員を講師とした一般向けのブックコート講習会、本の修理講習会を実施し、図書館に親しんでもらう。	実績	・ブックコート&修理講習会(2回) 5月21日 参加者 13人 9月17日 参加者 6人 ・工作教室(一般向け) 2月18日 参加者 11名
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	各種事業の開催（上演視聴）		
概要	図書館に親しんでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各種事業を開催する。		
計画	図書館展示ホール、あすなろホールを使用した気軽に楽しめるコンサートを開催したり、図書館所蔵のAV資料を使用し、一般向け映画の上映会を開催する。また、大人向けのおはなし会を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーコンサート（3回） <ul style="list-style-type: none"> 4月25日 参加者 42人 6月13日 参加者 48人 10月31日 参加者 101人 ・日曜シネマ <ul style="list-style-type: none"> 月2回 13作品 20回上映 参加者 179人 ・大人向けおはなし会（脇野沢分館） <ul style="list-style-type: none"> 12月16日 参加者 19人
予算	予算総額 60,000 円 映像資料上映許諾使用料 60,000 円	決算	決算総額 64,800 円 （内訳）映像資料上映許諾使用料 64,800 円

事業名	各種事業の開催（読書関連）		
概要	図書館に親しんでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各種事業を開催する。		
計画	雑誌や図書の無料配布を主体としたブックフェスティバルや、毎月テーマを替えて展示する図書の特別展示、貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリー等を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> 10月25日 参加者 240人 ぬいぐるみお泊まり会写真展示 雑誌無料配布 ・特別展示（一般向け）35回 ・スタンプラリー <ul style="list-style-type: none"> 10月27日～11月30日 参加者 525人（カード配布数） ・図書館福袋 <ul style="list-style-type: none"> 1月4日～11日 24袋（各3冊） ・ぬいぐるみお泊まり会 <ul style="list-style-type: none"> 10月16日 申込者 24人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円



工作教室（一般向け）



図書館福袋

事業名	集会、講習、展示等への施設提供		
概要	市民の身近な学習・社会教育施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援する。		
計画	市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。	実績	集会施設の利用状況 集会室 : 198回 2,599人 会議室 : 199回 1,614人 視聴覚ホール : 18回 1,180人 展示ホール : 16回
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【成果】

ブックフェスティバルやギャラリーコンサートは経費をかけず、来館者の増加に寄与している。

むつ市詩歌コンクールは毎年参加を楽しみにしている市民も多く、好評を得ている。

平成26年度から始まった映画上映会である日曜シネマは、好評なため年度途中から月2回の上映とした。

【課題】

行事開催の広報は広報むつ、ポスター、館内チラシ、ホームページで周知しているが新たな周知方法を考えていかなければならない。

全国的に図書館での障がい者サービスの見直しに伴い、障がい者サービスの新たな取り組みが必要である。



ギャラリーコンサート



大人向けおはなし会（脇野沢老人会）

(3) 利用者ニーズに即した資料整備

事業名		図書資料の購入																																					
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応えていく。																																						
計画	小説、哲学、歴史、社会科学（教育、経済等）自然科学（動物、医療）技術（料理、工学、産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等年度更新必要な資料を購入し、利用者からのリクエストに応じた購入を定期的に行う。	実績	一般 : 1,790冊 児童 : 466冊 郷土 : 47冊 AV資料 : 30点																																				
			利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>貸出数</th> <th>人数</th> <th>貸出数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>47,686</td> <td>153,800</td> <td>48,198</td> <td>157,648</td> </tr> <tr> <td>移動</td> <td>2,418</td> <td>7,915</td> <td>2,737</td> <td>9,271</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>96</td> <td>264</td> <td>116</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>584</td> <td>1,589</td> <td>916</td> <td>2,643</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>162</td> <td>338</td> <td>242</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,946</td> <td>163,906</td> <td>52,209</td> <td>170,333</td> </tr> </tbody> </table>		H27		H26		人数	貸出数	人数	貸出数	本館	47,686	153,800	48,198	157,648	移動	2,418	7,915	2,737	9,271	川内	96	264	116	286	大畑	584	1,589	916	2,643	脇野沢	162	338	242	485	合計	50,946
	H27		H26																																				
	人数	貸出数	人数	貸出数																																			
本館	47,686	153,800	48,198	157,648																																			
移動	2,418	7,915	2,737	9,271																																			
川内	96	264	116	286																																			
大畑	584	1,589	916	2,643																																			
脇野沢	162	338	242	485																																			
合計	50,946	163,906	52,209	170,333																																			
予算	予算総額 4,800,000 円 (内訳) 図書購入費 4,800,000 円	決算	決算総額 4,800,208 円 (内訳) 図書購入費 4,800,208 円																																				

事業名		郷土資料及び古文書の収集と情報の提供	
概要	郷土資料（郷土出身者、むつ市にゆかりのある人物を含む）を収集し、地域情報の集積機関としての役割を果たす。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規刊行される、むつ・下北関係資料については可能な限り収集する。 収集していないものや絶版となっている資料についても古書店の情報や寄贈図書を受け入れるなど、可能な限り対応する。 市や県が発行する行政資料の収集に努める。 	実績	出版社や地元書店等から情報提供を受けながら資料の収集に当たった。 購入 : 47冊 寄贈 : 400冊
			決算総額 339,367 円 (内訳) 図書購入費 339,367 円
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 図書購入費 200,000 円	決算	決算総額 339,367 円 (内訳) 図書購入費 339,367 円

※予算総額・決算総額については、事業名「図書資料購入」の再掲額です。

【成果】

図書資料のリクエストに対しては、図書の購入及び相互貸借等による他館との連携により、ほぼ応えられる体制となっている。

【課題】

図書購入費については全ての分野を網羅した選書をしなければならない、必要な資料を揃えられない状態である。映像資料は許諾料上乘せのため1個当たりの単価が高額であり、市民の要望に応えられていない。映像、音楽だけではなく、障がい者、高齢者のための朗読録音資料の継続購入が必要である。また、郷土資料の整理・分類を担う長期的な職員体制が必要である。

(4) 子どもの読書活動の推進

事業名	児童図書の購入		
概要	児童図書の充実により、児童の図書利用の促進を図り、将来的な図書利用者の拡大につなげていく。		
計画	図書購入予算の中で絵本、物語等、分野ごとに選定して購入する。	実績	児童図書購入冊数：466冊 (絵本：155冊 物語ほか：311冊)
予算	予算総額 710,000 円 (内訳) 図書購入費 710,000 円	決算	決算総額 694,628 円 (内訳) 図書購入費 694,628 円

※予算総額・決算総額については、事業名「図書資料購入」の再掲額です。

事業名	子育て・子ども向け事業の開催		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもの読書推進を図る。テーマを決めて図書の展示、季節に関連しての図書展示を行う。夏休み、冬休みには映画上映会や工作教室を企画し図書館に親しむ機会をつくり、読書推進へつなげる。		
計画	①毎週土曜日「おはなし会」 ②季節の「おはなし会」 ③「こわいおはなし会」 ④「夏休み子ども映画劇場」 ⑤「冬休み子ども映画劇場」 ⑥工作教室（牛乳パック船作り） ⑦工作教室（プラバン作り） ⑧工作教室（スノードーム作り） ⑨児童の特別展示・季節の展示 ⑩10ヶ月検診への協力 3歳児健診への協力 ⑪子ども見学ツアー ⑫分館夏休み・冬休みお楽しみ会	実績	①午後2時～2時30分 45回 310名 ②5月9日：16名 9月26日：24名 12月12日：35名 ③7月30日：66名 ④8月1日～8日：221名 ⑤12月23日～26日：27名 ⑥8月6日：15名 ⑦10月25日：27名 ⑧12月24日：13名 ⑨38回 ⑩乳児の図書館カード作成数：39名 3歳児検診時に絵本の閲覧 ⑪5月5日：6名 ⑫7月22日：8名（川内） 7月30日：38名（大畑） 8月4日：13名（脇野沢） 12月21日：14名（脇野沢）
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	学校図書館への支援		
概要	学校図書館運営の助言及び支援業務を行う。		
計画	希望する学校と支援内容について相談しながら日程調整等行う。	実績	・奥内小学校 8月4日、6日、7日 支援人数：のべ10人 ・大湊小学校 1月6日～8日、12日 支援人数：のべ12人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	学校からの見学・インターンシップの受け入れ		
概要	市内及び郡内の小・中・高校から図書館見学・職場体験学習を受け入れる。		
計画	各学校と連絡調整し受け入れる。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学：371名 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園 1園 22名 小学校 13校 349名 ・ 調べ学習：中学校10名 ・ 親子読書会：小学校13名 ・ 職場体験：15名 <ul style="list-style-type: none"> 中学校 4校 8名 高校 2校 6名 大学 1校 1名
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	県立図書館の協力図書貸出し事業		
概要	県立図書館の協力図書及び図書セットを活用し、学校図書館の充実に協力する。		
計画	希望する学校へ県立図書館から借り受けた協力図書及び図書セットの斡旋を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望校に各500冊 ・ 図書セット貸出 低・中・高学年各1セット当たり20冊（前期・後期） 	実績	協力図書：4校 1,860冊 図書セット：2校 12セット
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

【成果】

- ・ 「こわいおはなし会」は好評により毎年参加人数が多い。
- ・ 各種工作教室は奉仕員が主体となり様々な内容で行っており好評である。
- ・ 学校図書室への支援は学校との協力体制が図られた。
- ・ 学校の図書館見学、職場体験学習は、本に興味を持つ機会になり、キャリア教育にも有効であると好評で申込み人数は増加傾向にある。



インターンシップの受け入れ

【課題】

職場体験学習は希望日時が重なり、全ての学校の希望受け入れができないので、日程の調整等が必要である。学校図書室への支援は職員の派遣の体制づくりが課題である。

◇点検・評価対象一覧

施策		重点項目	事業名	頁	
1	ア	教育環境の整備促進	(1) 学校規模の適正化	児童生徒通学輸送事業	4
			(2) 安全・安心な教育環境の整備	脇野沢小学校建設事業	5
				関根中学校建設事業	5
	小・中学校非構造部耐震化事業	6			
	その他小中学校の施設・設備の整備事業	6			
	防犯ブザー購入事業	7			
	イ	活力ある学校教育の推進	(1) 教員の適正・適切な配置	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	8
			(2) 通学区域制度の適切な運用及び再編	むつ市通学区域審議会	9
			(3) 学校規模の適正化に係る研究・検討	学校統廃合のための地域説明会等の開催	9
			(4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	要保護児童生徒援助事業	9
				準要保護児童生徒援助事業	10
				特別支援教育就学奨励事業	10
			(5) 学校評議員制度の充実	学校評議員の配置	11
			(6) 幼稚園への就園奨励	私立幼稚園就学奨励費補助事業	11
			(7) 奨学金制度の充実	奨学金の貸与・返還の管理	12
			(8) 学校保健の充実	健康診断委託事業	13
学校医委託事業	13				
学校災害児童生徒医療費給付事業	14				
学校保健会補助事業	14				
(9) 学校給食の充実	学校給食管理事業	15			
	学校給食厨房機器・用具整備事業、学校給食設備整備事業	16			
2	生涯学習の推進 文化の充実	(1) 生涯学習の推進	社会教育委員の設置	17	
			社会教育指導員による学習支援	17	
			弘前大学生涯学習講演会の開催	18	
			成人式の開催	18	
			あおり県民カレッジ情報の提供	18	
			放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の支援	19	
			自然観察会の開催	19	
		(2) 家庭・学校・地域の連携促進	放課後子ども教室推進事業	20	
			むつ市文化団体等支援事業	21	
		(3) 芸術・文化活動の奨励と振興	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	21	
			東京芸術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	22	
			民俗芸能の保存と伝承活動の支援	22	
		(4) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財保護審議会の設置	23	
			自然環境調査事業	23	
			文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業	24	
		(5) 社会教育施設の充実	重要文化財保存修理事業	25	
			文化財収蔵庫の管理・運営	26	
			石造建造物の活用検討	26	
			むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	27	
むつ市下北自然の家管理・運営	27				
3	「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 小中一貫教育の充実	小中一貫教育推進事業	29	
			小中一貫教育非常勤講師配置事業	29	
			小中一貫教育推進委員会開催事業	30	
		(2) 質の高い教育課程の創造	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業	30	
			学力調査・知能検査実施事業	31	
		(3) 学力向上対策の充実	学力向上対策研修会開催事業	31	
			「活用型問題集（ドリムワーク）」作成事業	32	
		(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	生徒指導検査実施事業	32	
			いじめ問題対策委員会開催事業	33	
		(5) 特別支援教育体制の充実	スクールサポーター配置事業	33	
			就学指導説明会開催事業	34	
		(6) 教育相談活動の充実	特別支援教育推進委員会開催事業	34	
			むつ市教育相談室開設事業	35	
教育相談支援員配置事業	35				
(7) 国際化に対応する教育の推進	適応指導教室開設事業	36			
	外国語指導助手（ALT）配置事業	37			
(8) 教育研修センター講座等の充実	ジュニア大使派遣事業	37			
	中華民国陽明国民中学との友好交流事業	37			
(9) 弘前大学教育学部との連携強化	教職員研修講座開設事業	38			
	教育研修センター講座等連携事業	39			
(10) 文化・交流事業の充実	弘前大学教育学部「ラボ・パス実験教室」	39			
	むつ市子ども夢育成基金事業	40			
	むつ市子ども議会開催事業	41			

施策	重点項目	事業名	頁	
4	公民館活動の推進	(1) 公民館の適正管理と運営の充実	公民館運営審議会	42
			中央館・地区館の管理体制の確立	42
			公民館施設・設備の整備	43
			地区館の管理運営体制の確立	43
		(2) 公民館事業の推進	市民大学事業	44
			婦人学級	45
			新田ふれあい学級	46
			子ども向け各種講座	46
			むつ市少年教育指導委員会議・ジュニアリーダー研修会	47
			子ども防災キャンプ	47
			家庭教育事業開催	48
			分館活動の充実	48
		(3) 社会教育団体等の育成支援	社会教育団体の自主性・自立性の確立	49
			公民館まつり	50
			女性の社会参加促進活動等の支援	51
		(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	社会教育指導員配置事業	51
			下北美術展	52
		(5) 視聴覚ライブラリーの充実	市民大学一日体験入学	52
			子どもネプタ合同運行支援	52
			視聴覚教具・教材の整備	53
連絡調整会議の開催	53			
5	地域の教育・文化の向上発展	(1) 図書館施設の適正管理	視聴覚教具・教材の利用促進	54
			図書館施設・設備の保守管理業務委託	55
		(2) 図書館サービス活動の充実	図書館施設・設備の改修及び修繕	56
			図書館協議会の開催	57
			図書館システムによるサービスの拡充	57
			図書館奉仕員の配置によるレファレンス活動の充実	57
			本館と分館の連携によるリクエストの拡充	58
			移動図書館車の運行业務委託	58
			相互貸借ネットワーク事業	58
			障がいをもつ人へのサービス	58
			むつ市詩歌コンクール	59
			川島雄三映画上映会及び記念室の運営	59
			各種事業の開催（実技体験型）	59
			各種事業の開催（上演視聴）	60
			各種事業の開催（読書関連）	60
		集会、講習、展示等への施設提供	61	
		(3) 利用者ニーズに即した資料整備	図書資料の購入	62
			郷土資料及び子文書の収集と情報の提供	62
		(4) 子どもの読書活動の推進	児童図書購入	63
			子育て・子ども向け事業の開催	63
学校図書館への支援	63			
学校からの見学・インターンシップの受け入れ	64			
		県立図書館の協力図書貸出し事業	64	